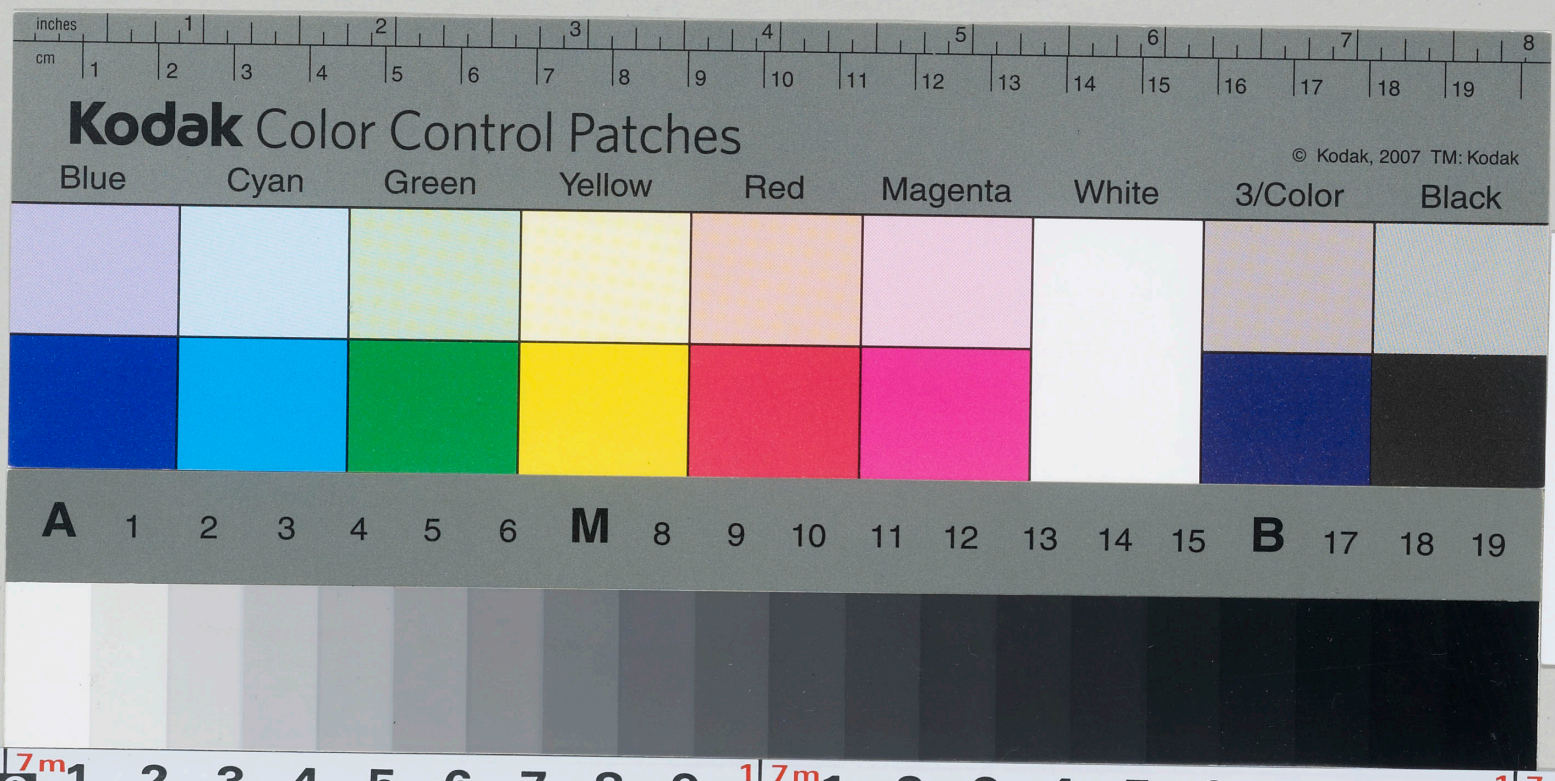


〔従六位大西克孝講述〕診断学　全

大阪府立図書館蔵書

池田蔵書

診断學

Diagnostik

之學ハ病ノ性質ヲ鑑識シ凡テノ疾病ヲ指掌ス所ノ理由ヲ考究スル
ヨリ之ヲ主ル目的ハ疾病ノ發生ヲ防止スルニ在リ

診斷學ハ其ノ最モ大ナル一部ヲ占ムルヲ以テ時ニ於テハ理論ト併セ診斷
學ト稱スルコトアリ又單ニ診斷ト稱スルコトアリ

診斷學ハ其ノ取扱フ所ノ事項ニ從ヒ種々ノ區別ヲ爲スヲ得ルモ其ノ
最モ普通ナルモノハ之ヲ分チテ理論的診斷學ト實地的診斷學トノ二
トス

理論的診斷學ハ病ノ徴候ヲ研究シテ病ノ診斷ヲ爲スニ必要ナル知識
ヲ與フルモノニシテ之ヲ分チテ物理的診斷學ト化學的診斷學トノ二
トス

實地的診斷學ハ理論的診斷學ニ基キ實際ニ就キ病ノ診斷ヲ爲スニ必
要ナル一般ノ規則ヲ說クモノニシテ之ヲ分チテ一般的診斷學ト特別
的診斷學トノ二トス

一般的診斷學ハ病ノ診斷ヲ爲スニ必要ナル一般ノ規則ヲ說クモノニ
シテ之ヲ分チテ檢查ト觀察トノ二トス

檢查ハ病ノ徴候ヲ探リ出スノ手段ニシテ之ヲ分チテ物理的檢查ト化
學的檢查トノ二トス

觀察ハ檢查ニ依リテ探リ出シタル病ノ徴候ヲ觀察シテ病ノ診斷ヲ爲
スニ必要ナル知識ヲ與フルモノニシテ之ヲ分チテ物理的觀察ト化學
的觀察トノ二トス

特別的診斷學ハ各種ノ病ニ就キ其ノ診斷ヲ爲スニ必要ナル規則ヲ說
クモノニシテ之ヲ分チテ內科的診斷學ト外科的診斷學トノ二トス

(ハ) 既往症ノ訊問　○○○○○○

(ニ) 現在ノ訊問　○○○○○○

(d) 既往病ノ診断

之レ一見病ノ引起シ又ハ之ニ関係アル如キ病ノ有無ヲ探究スルノ必要アルヲ以テ(通常ノ診断)之ニ一章ヲ設ケテ述ブ

既往病ノ診断ハ現在病ノ診断ニ関係アルノミナラス偽病ヲ発見スルノ点ニ於テモ亦タ重要ナルヲ以テ茲ニ之ヲ述ヘントス

既往病ノ診断ハ之ヲ分チテ二トス即チ其一ハ既往病ノ有無ヲ探究スルノ点ニ関シ他ハ既往病ノ性質ヲ探究スルノ点ニ関ス

II 現在病ノ診断

現在病ノ診断ニ関シテハ先ツ病ノ性質ヲ探究シ然ル後ニ病ノ程度ヲ探究スルヲ以テ順序トス

(a) 病ノ性質ヲ探究スルニ当リテハ先ツ一般ノ診察ヲ行ヒ然ル後ニ各部ノ診察ヲ行フヲ以テ順序トス

一般ノ診察ハ患者ヲ南向シ病ヲ真正面ニ受ケテ之ヲ観察スルヲ以テ最モ便利トス

一般ノ診察ニ要スル器具ハ左ノ如シ

(a) 体温器
(b) 脈搏計
(c) 呼吸器
(d) 聴診器(或ハ聴管)
(e) 神経器

(a) 体温器(精神状態)
(b) 脈搏計(患者ノ位置)
(c) 呼吸器(体格、管腔)
(d) 聴診器(心臓、肺下縁、肺雪線)

(一) 一般ニ新造

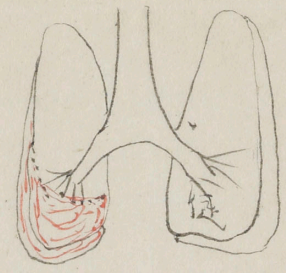
A 精神狀態
之レ患者精神狀態ヲ知ラント欲スルニ當リ大体ニ於テ常ニ必ス實行スヘキ事項ニシテ極メテ知ラント欲スル精神機能ヲ、判斷力、記憶力、其他一般ニ精神力ヲ分チテ之ヲ見ルニ先ツ患者ニ對シ其氏名、年齢、職業、出生地等ヲ問ヒ、次ニ現在ノ日時、場所、周圍ノ狀況等ヲ知ラシメ、以テ意識ノ明瞭ナルヤ否ヤヲ知ルヘシ

B 患者ノ擧動
之レ一般ニ精神病者ニ於テ必ス觀察セサルヘカラサル事項ニシテ之ヲ擧ケレハ左ノ如シ
(一) 作狀
(二) 擧動
(三) 姿勢
(四) 顏貌

之ヲ精神發現ノ自動的ノモノト反動的ノモノトニ區別シ、尙ホ一般ノ擧動ニ就テモ觀察スヘキ點多シト雖モ、今ハ其主ナルモノヲ擧ケテ左ニ論スヘシ

a 擧動的作狀
(イ) 興奮狀態
之レ如何ナル病ニ罹リタルヤヲ問ハス、患者ニシテ興奮狀態ニ在ルトキハ、其精神機能ノ各部ニ於テ一種ノ特殊ノ變調ヲ來スヲ以テ、自己ノ作狀ヲ支配スル能ハス、從テ其作狀ハ病的ノモノトナリ、之ヲ健康ノ人ノ作狀ニ比スレハ、其差異ノ著シキヲ見ル、興奮狀態ニ在ル患者ノ作狀ハ、其興奮ノ程度ニ從テ種々ノ變化ヲ呈スルモノナリ、

b 擧動的姿勢
(イ) 興奮狀態
之レ亦興奮狀態ニ在ル患者ニ於テ最モ著シク、其姿勢ハ一般ニ不安定ニシテ、常ニ動搖シ、或ハ立チ或ハ坐シ、或ハ臥シ、或ハ走リ、或ハ跳リ、或ハ踊リ、或ハ舞ヒ、或ハ歌ヒ、或ハ叫ヒ、或ハ笑ヒ、或ハ泣キ、或ハ怒リ、或ハ罵リ、或ハ喚キ、或ハ呻キ、或ハ囁キ、或ハ嘆キ、或ハ悲ミ、或ハ喜ヒ、或ハ樂シミ、或ハ苦シミ、或ハ恐レ、或ハ驚キ、或ハ疑ヒ、或ハ怪ミ、或ハ憂ヒ、或ハ思ヒ、或ハ考ヘ、或ハ惑ヒ、或ハ迷ヒ、或ハ悟リ、或ハ諦メ、或ハ決シ、或ハ斷シ、或ハ行ヒ、或ハ止メ、或ハ進ミ、或ハ退キ、或ハ左ニ或ハ右ニ、或ハ前ニ或ハ後ニ、或ハ上ニ或ハ下ニ、或ハ東ニ或ハ西ニ、或ハ南ニ或ハ北ニ、或ハ中央ニ、或ハ周圍ニ、或ハ内ニ或ハ外ニ、或ハ表ニ或ハ裏ニ、或ハ横ニ或ハ縦ニ、或ハ斜ニ或ハ直ニ、或ハ曲リ或ハ折レ、或ハ轉ヒ或ハ反リ、或ハ捲キ或ハ卷キ、或ハ開キ或ハ閉ヂ、或ハ伸ヒ或ハ縮ミ、或ハ屈ミ或ハ延ヒ、或ハ上リ或ハ下リ、或ハ昇リ或ハ降リ、或ハ入リ或ハ出テ、或ハ來リ或ハ往キ、或ハ去リ或ハ歸リ、或ハ通リ或ハ過キ、或ハ越エ或ハ渡リ、或ハ登リ或ハ下リ、或ハ走リ或ハ飛ヒ、或ハ跳リ或ハ踊リ、或ハ舞ヒ或ハ歌ヒ、或ハ叫ヒ或ハ笑ヒ、或ハ泣キ或ハ怒リ、或ハ罵リ或ハ喚キ、或ハ呻キ或ハ囁キ、或ハ嘆キ或ハ悲ミ、或ハ喜ヒ或ハ樂シミ、或ハ苦シミ或ハ恐レ、或ハ驚キ或ハ疑ヒ、或ハ怪ミ或ハ憂ヒ、或ハ思ヒ或ハ考ヘ、或ハ惑ヒ或ハ迷ヒ、或ハ悟リ或ハ諦メ、或ハ決シ或ハ斷シ、或ハ行ヒ或ハ止メ、或ハ進ミ


肺

（右眼の色澤
光に依て色澤を檢す）

こゝと見べき事か能く其色を見て
別に見べきことなり急を以て
（全）舌用の色狀　舌の
こゝと云ふ時は舌の全體の色狀と
舌邊と舌尖と舌中と舌根との
色狀と舌苔の有無とを
合せて云ふ時は舌用の色狀と
云ふ舌用の色狀を見るには
其舌を出さしめて其全體を
見るは勿論なれども舌邊と
舌尖と舌中と舌根とを
別々に見ざるべからず
舌邊は舌の兩邊にして
舌尖は舌の先端にして
舌中は舌の中央にして
舌根は舌の後部にして
舌苔は舌の表面に
附着する物なり
舌の正常の色狀
舌の正常の色狀は
淡紅色にして
的々たる潤澤ありて
乾燥せず
舌苔なく
舌面平滑にして
舌邊舌尖舌中舌根
皆同色なり
舌の正常の色狀は
淡紅色にして
的々たる潤澤ありて
乾燥せず
舌苔なく
舌面平滑にして
舌邊舌尖舌中舌根
皆同色なり

実フラやニ義
腹うそと日ケ方
あへ気まり多
うそて

之ルモ黄耳ノ如ク黄色トナンヨリ身体ニ至ルマデ小ク且ツ限リ無ク
軟膜、而シテ尿少、時ニ腸閉(ママ)ノ如キ症状ヲ呈シ死ニ至ルヲ常トス
亦タ稀ニ夏期ニ於テ之ヲ見ル
(ロ)胆嚢閉塞、黯悪ニ基ク如キ
胆嚢ニ結石ヲ生ジ胆汁ノ流通ヲ妨ケラルルトキハ胆汁ハ血液中ニ入リ
テ全身ノ組織ヲ黄染スルニ至ル此ノ場合ニハ胆汁ノ色素ハ勿論胆汁
酸モ亦タ血液中ニ入リ胆汁酸ハ神経ヲ刺戟シテ徐脈ヲ来シ且ツ皮膚
ニ瘙痒ヲ起ス故ニ此ノ病ニ罹レル者ハ皮膚ヲ掻キ破リ又ハ瘙痒ノ為
メ安眠ヲ得ス為メニ衰弱ヲ来シ遂ニ死ニ至ルヲ常トス
(ハ)胆嚢ノ腫瘍、胆嚢ニ発生シタル腫瘍ハ胆嚢ヲ閉塞シ黄疸ヲ来スヲ
常トス而シテ胆嚢ニ発生スル腫瘍ハ悪性ノモノ多シ
(ニ)胆道ノ寄生虫病
胆道ニ寄生スル虫ハ回虫ヲ最トス其ノ他ノ寄生虫ハ稀ニ之ヲ見ル
回虫ハ胆道ニ入リ胆汁ノ流通ヲ妨ケ黄疸ヲ来スノミナラス胆道ニ
炎症ヲ起シ又ハ膿瘍ヲ形成シ遂ニ肝臓ノ膿瘍ヲ来シ死ニ至ルヲ常
トス
(ホ)胆道ノ先天的異常
胆道ノ先天的異常ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヘ)胆道ノ外傷
胆道ノ外傷ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ト)胆道ノ瘢痕狭窄
胆道ノ瘢痕狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(チ)胆道ノ炎症
胆道ノ炎症ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(リ)胆道ノ痙攣
胆道ノ痙攣ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヌ)胆道ノ麻痺
胆道ノ麻痺ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ル)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヲ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ワ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(カ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヨ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(タ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(レ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ソ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ツ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ネ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ナ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ラ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ム)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ウ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ノ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(オ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ク)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヤ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(マ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ケ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(フ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(コ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(エ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(テ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ア)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(サ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(キ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ユ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(メ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ミ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(シ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヒ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(モ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(セ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ス)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ン)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル

要之ニ胆汁ノ血液内ニ吸収セラルルニ因リ皮膚、粘膜、漿膜、
諸臓器、諸組織ノ黄染ヲ来スヲ以テ特徴トス
胆汁ノ血液内ニ吸収セラルル時ハ先ツ皮膚ノ黄染ヲ来シ次テ
粘膜、漿膜、諸臓器、諸組織ノ黄染ヲ来スヲ常トス
(イ)肝臓ノ疾患
肝臓ノ疾患ニ基ク黄疸ハ最モ多ク之ヲ見ル
(ロ)胆嚢閉塞、黯悪ニ基ク如キ
胆嚢ニ結石ヲ生ジ胆汁ノ流通ヲ妨ケラルルトキハ胆汁ハ血液中ニ入リ
テ全身ノ組織ヲ黄染スルニ至ル此ノ場合ニハ胆汁ノ色素ハ勿論胆汁
酸モ亦タ血液中ニ入リ胆汁酸ハ神経ヲ刺戟シテ徐脈ヲ来シ且ツ皮膚
ニ瘙痒ヲ起ス故ニ此ノ病ニ罹レル者ハ皮膚ヲ掻キ破リ又ハ瘙痒ノ為
メ安眠ヲ得ス為メニ衰弱ヲ来シ遂ニ死ニ至ルヲ常トス
(ハ)胆嚢ノ腫瘍、胆嚢ニ発生シタル腫瘍ハ胆嚢ヲ閉塞シ黄疸ヲ来スヲ
常トス而シテ胆嚢ニ発生スル腫瘍ハ悪性ノモノ多シ
(ニ)胆道ノ寄生虫病
胆道ニ寄生スル虫ハ回虫ヲ最トス其ノ他ノ寄生虫ハ稀ニ之ヲ見ル
回虫ハ胆道ニ入リ胆汁ノ流通ヲ妨ケ黄疸ヲ来スノミナラス胆道ニ
炎症ヲ起シ又ハ膿瘍ヲ形成シ遂ニ肝臓ノ膿瘍ヲ来シ死ニ至ルヲ常
トス
(ホ)胆道ノ先天的異常
胆道ノ先天的異常ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヘ)胆道ノ外傷
胆道ノ外傷ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ト)胆道ノ瘢痕狭窄
胆道ノ瘢痕狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(チ)胆道ノ炎症
胆道ノ炎症ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(リ)胆道ノ痙攣
胆道ノ痙攣ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヌ)胆道ノ麻痺
胆道ノ麻痺ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ル)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヲ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ワ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(カ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヨ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(タ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(レ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ソ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ツ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ネ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ナ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ラ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ム)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ウ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ノ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(オ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ク)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヤ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(マ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ケ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(フ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(コ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(エ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(テ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ア)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(サ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(キ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ユ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(メ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ミ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(シ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ヒ)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(モ)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(セ)胆道ノ閉塞
胆道ノ閉塞ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ス)胆道ノ圧迫
胆道ノ圧迫ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル
(ン)胆道ノ狭窄
胆道ノ狭窄ニ基ク黄疸ハ稀ニ之ヲ見ル

三色版印刷機 [illegible]
寒暑風雨 尺度 (直ぎ尺度ともいう) 標準色 [illegible] 標準時間 [illegible]
うどん粉 [illegible] 花色 [illegible] 時計 [illegible] 下
時計 [illegible] 鳴き [illegible] 生産 [illegible] 挑発 [illegible]
血液型 白球 [illegible]
しろうと [illegible] 主義 [illegible]
天代 [illegible] 五重塔 [illegible]
[illegible] 赤 [illegible] 曜日 [illegible]
[illegible] 五色 [illegible]
七曜の朝 [illegible]
[illegible]
[illegible] 身体 [illegible] 到着 [illegible]
[illegible] 赤色 [illegible]
[illegible] 赤 [illegible]

[illegible] 青黒色 [illegible]
[illegible] 親向 [illegible]
[illegible] 身体 [illegible]
[illegible] 話 [illegible]
[illegible] 電話 [illegible]
[illegible] 五色 [illegible]
[illegible] 到着 [illegible]
[illegible] 五重塔 [illegible]
[illegible] 五色 [illegible]
[illegible] 五重塔 [illegible]
[illegible] 赤 [illegible]
[illegible] 五色 [illegible]
[illegible] 赤 [illegible]
[illegible] 赤 [illegible]
[illegible] 赤

ワルツ

ダンスホールで、ダンスをするときに、男女が組んで踊る踊り。

ダンス

ワルツ

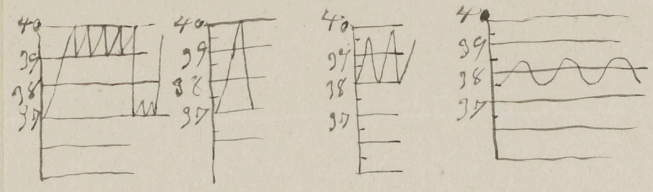
ワルツ

ワルツ

[illegible]

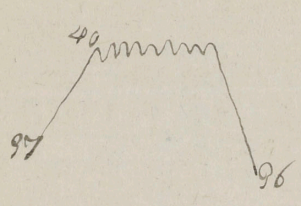
[illegible]

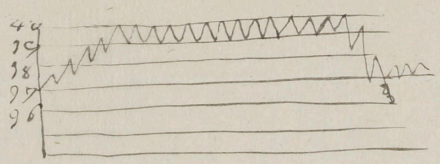
[illegible]



(一) 稽留熱 ……
……
(二) 弛張熱 ……
……
(三) 間歇熱 ……
……
(四) 再發熱 ……
……

熱型

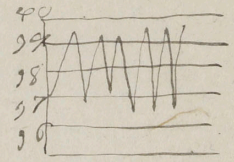


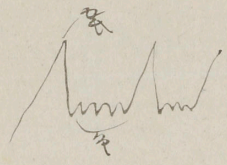


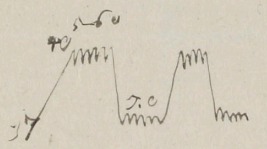
二 平熱と病熱

稽留熱 弛張熱 間歇熱 ……

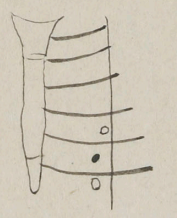
平熱 病熱 ……







脈搏ハ呼吸ト共ニ昇降シ脈搏ト呼吸トノ比ハ大体一対四ナリ脈搏ハ呼吸ノ数ヨリ多キヲ常トス脈搏ハ呼吸数ノ約四倍ナリ



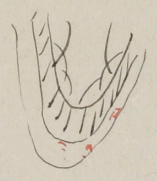
(一)視診　ここに仰向に臥せしめ見る所左の如し

心尖膊動　心跳

ここに心尖膊動とは心臓の尖端が胸壁に近く左下方に心尖部を以て触れ得る現象をいふ

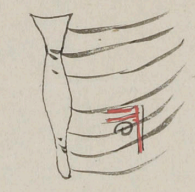
心尖膊動の解剖的位置は何人も左第五肋間にあり之を指位といふ　乳腺の発育良好なる女子にありては乳腺の下縁に触れ得ることあり　乳腺の下に触れ得ることあるは稀なり　乳腺の下に触れ得ることあるは稀なり　乳腺の下に触れ得ることあるは稀なり　乳腺の下に触れ得ることあるは稀なり

心尖膊動は一般に左第五肋間にあり



a 強盛
[illegible]

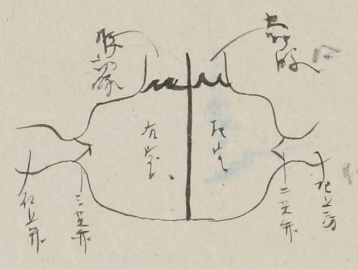
b 減弱
[illegible]

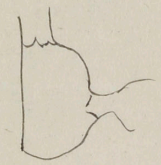


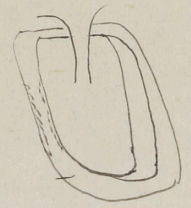
お面の裏もト
鼻下小腹
呼吸切迫

17

心臓聴診
心臓聴診ハ心臓ノ自然ノ音ヲ聞キ又ハ病的ノ音ヲ聞キ
之ニ四事アリ大動脈ニ於テ行ヒ又ハ病ヲ
呼心臓ヲ多ク四肢ニ於テ聞キ又ハ病ヲ
見ハ聴動ノ聞キ
三肺臓ノ聴動
之ハ肺臓ノ病ヲ聞キ又ハ病ヲ
見ハ聴動ノ聞キ
四肺臓ノ聴動
之ハ心臓ノ病ヲ聞キ又ハ病ヲ見ハ聴動ノ聞キ
肺臓聴診
肺臓ノ病ヲ聞キ又ハ病ヲ見ハ聴動ノ聞キ
時肺胞腸ノ如シ肺胞ハ一枚ノ薄膜ニシテ其内ニ空気ヲ入レ
ル時ハ膨張シ空気ヲ出ス時ハ収縮ス
乾性ノ肺炎ニ於テハ肺胞ニ水分ヲ含ム故ニ膨張スルコト
能ハス
肺臓ノ聴動ハ一種ノ雑音ニシテ其音ヲ聞キ又ハ病ヲ見ハ聴動ノ聞キ
肺臓ノ聴動ハ一種ノ雑音ニシテ其音ヲ聞キ又ハ病ヲ見ハ聴動ノ聞キ
肺臓ノ聴動ハ一種ノ雑音ニシテ其音ヲ聞キ又ハ病ヲ見ハ聴動ノ聞キ
肺臓ノ聴動ハ一種ノ雑音ニシテ其音ヲ聞キ又ハ病ヲ見ハ聴動ノ聞キ
肺臓ノ聴動ハ一種ノ雑音ニシテ其音ヲ聞キ又ハ病ヲ見ハ聴動ノ聞キ
肺臓ノ聴動ハ一種ノ雑音ニシテ其音ヲ聞キ又ハ病ヲ見ハ聴動ノ聞キ
肺臓ノ聴動ハ一種ノ雑音ニシテ其音ヲ聞キ又ハ病ヲ見ハ聴動ノ聞キ







甘る理由、能く能く得くまで堂修を能
B
第二　心臓之陰之脈
この脈の候を修行する者、心臓の陰と心臓の陽の両方の脈を別々に診て、一つの脈のように心臓の脈と診てはならない。
心臓之陰之脈
心臓之陰之脈、手の少陰心経に属し、心臓から出て、心系に繋がり、下って胸中に入り、横隔膜を貫いて、腹部に至り、上って咽喉を循り、目系に繋がる。
その支脈は、心臓から出て、肺を横切って、腋の下の極泉穴に出る。
また別に心臓から出て、肺を横切って、手の太陽小腸経と表裏をなす。
また別に心臓から出て、肺を横切って、手の厥陰心包経と表裏をなす。
また別に心臓から出て、肺を横切って、手の陽明大腸経と表裏をなす。
また別に心臓から出て、肺を横切って、手の太陰肺経と表裏をなす。
また別に心臓から出て、肺を横切って、手の少陽三焦経と表裏をなす

打法

(一) 打法ノ方法

直接打撃
間接打撃
指ノ根拠

(四) 打法 ……

……

打法ノ方法

打法ノ方法ト打法ノ効力トハ……

……

注意

打法ノ注意

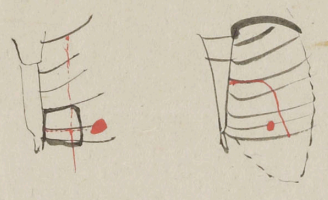
打法ノ根拠ト指ノ根拠トハ……

……

(二) 心臓ノ打法

心臓ノ打法ニハ……

(一) ……



(二) 純心濁音

比較的心濁音ハ心臓ノ上ノ部ノ神経ノ興奮ニ因リテ起ル神経病ノ一種ニシテ心濁音ト心臓ノ濁音トノ間ニ空虚ノ部分アリテ之ニ代ルニ肺ノ濁音ヲ以テスルモノヲ謂フ

純心濁音ハ左乳下線ト右乳下線トヲ連ヌル線ノ間ニ存在スルモノニシテ肺濁音ニ引キ続キテ聞ユルモノナリ

(一) 肥大

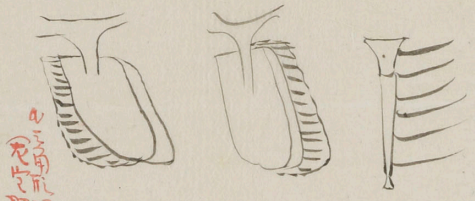
(ロ) 濁音ト重ナル

(イ) 重大

病的ノ心臓濁音ニ重大重ナリタルモノニ三アリ

イ 肥大

ロ 拡張



(一) 肥大

心臓ノ肥大ハ心臓ノ筋肉ノ増殖ニ因リテ起ル病ニシテ心臓ノ濁音ヲ増大スルモノヲ謂フ

肥大ニハ心臓ノ左下方ニ向ヒテ増大スルモノト右下方ニ向ヒテ増大スルモノトアリ

左下方ニ増大スルモノハ心臓ノ濁音ヲ左下方ニ増大スルモノニシテ之ヲ検スルニ左乳線ノ外方ニ濁音ヲ増シ且ツ心尖ノ位置ヲ左下方ニ移スモノトス

右下方ニ増大スルモノハ心臓ノ濁音ヲ右下方ニ増大スルモノニシテ之ヲ検スルニ右乳線ノ外方ニ濁音ヲ増シ且ツ心尖ノ位置ヲ右下方ニ移スモノトス

(二) 拡張

拡張ニハ心臓ノ全体ノ拡張ト一部ノ拡張トアリ

全体ノ拡張ハ心臓ノ濁音ヲ四方ニ増大スルモノニシテ之ヲ検スルニ左乳線ノ外方ニ濁音ヲ増シ且ツ心尖ノ位置ヲ左下方ニ移スト共ニ右乳線ノ外方ニ濁音ヲ増シ且ツ心尖ノ位置ヲ右下方ニ移スモノトス

一部ノ拡張ハ心臓ノ一部ノ拡張ニシテ其ノ濁音ヲ増大スルモノヲ謂フ

一部ノ拡張ハ心臓ノ何レノ部ニ起ルカニ因リテ其ノ濁音ヲ増大スル部位ヲ異ニス

(一) 肥大

(イ) 重大

(ロ) 濁音ト重ナル

心臓ノ肥大ハ心臓ノ筋肉ノ増殖ニ因リテ起ル病ニシテ心臓ノ濁音ヲ増大スルモノヲ謂フ

肥大ニハ心臓ノ左下方ニ向ヒテ増大スルモノト右下方ニ向ヒテ増大スルモノトアリ

左下方ニ増大スルモノハ心臓ノ濁音ヲ左下方ニ増大スルモノニシテ之ヲ検スルニ左乳線ノ外方ニ濁音ヲ増シ且ツ心尖ノ位置ヲ左下方ニ移スモノトス

右下方ニ増大スルモノハ心臓ノ濁音ヲ右下方ニ増大スルモノニシテ之ヲ検スルニ右乳線ノ外方ニ濁音ヲ増シ且ツ心尖ノ位置ヲ右下方ニ移スモノトス

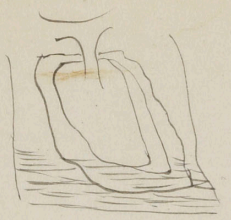
(二) 拡張

拡張ニハ心臓ノ全体ノ拡張ト一部ノ拡張トアリ

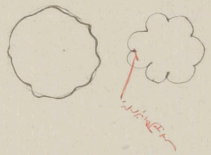
全体ノ拡張ハ心臓ノ濁音ヲ四方ニ増大スルモノニシテ之ヲ検スルニ左乳線ノ外方ニ濁音ヲ増シ且ツ心尖ノ位置ヲ左下方ニ移スト共ニ右乳線ノ外方ニ濁音ヲ増シ且ツ心尖ノ位置ヲ右下方ニ移スモノトス

一部ノ拡張ハ心臓ノ一部ノ拡張ニシテ其ノ濁音ヲ増大スルモノヲ謂フ

一部ノ拡張ハ心臓ノ何レノ部ニ起ルカニ因リテ其ノ濁音ヲ増大スル部位ヲ異ニス



(二)
横張
(附横)



(四)要点

(三)要旨

(二)要位

聴診

(一)聴診ノ定義

(一)面積

(四)聴診

聴診ノ定義

聴診ハ

(二)打診

(二)打診ノ種類

(一)直接打診

(二)間接打診

(一)直接打診ハ一定部ヲ指又ハ指ノ尖端ヲ以テ打ツ

(二)間接打診ハ一器械ノ助ケヲ藉リテ打診ヲ行フ

(二)間接打診ハ一定ノ器械ヲ用ヒテ打診ヲ行フ

(一)直接打診ノ種類

(一)指打診

(二)指ヲ以テ打ツ

(二)指ヲ以テ打ツ

(一

心臓ノ聴診

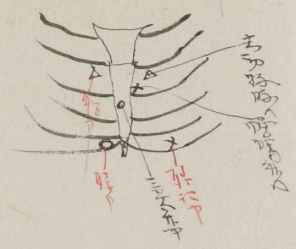
A 心音

第一音
（収縮期雑音）
Systolic murmur

第二音
（拡張期雑音）
Diastolic murmur

第一音
（収縮期雑音）

第二音



心音発生機序

第一音

1

2

心室収縮ノ始マルト共ニ房室弁ハ閉ヂ血液ハ心室ヨリ心房ニ逆流セントスルモ閉ヂタル房室弁ニ妨ゲラレテ心室内ニ止マリ心室ノ収縮ハ益々強クナリ心室内ノ圧ハ急激ニ増加シ遂ニ心室内ノ圧ガ動脈内ノ圧ヲ超ユルニ至ルト動脈弁ハ開カレ血液ハ心室ヨリ動脈ニ駆出セラレル

第二音

心室弛緩ノ始マルト共ニ動脈弁ハ閉ヂ血液ハ動脈ヨリ心室ニ逆流セントスルモ閉ヂタル動脈弁ニ妨ゲラレテ心室内ニ止マリ心室ノ弛緩ハ益々強クナリ心室内ノ圧ハ急激ニ減少シ遂ニ心室内ノ圧ガ心房内ノ圧ヲ下ルニ至ルト房室弁ハ開カレ血液ハ心房ヨリ心室ニ流入スル

心音ノ強弱

(一)強盛

心主有濁性

心雑音

心雑音

心雑音

A 母音間の有声
有心にて(2)大切時又(1)物定
有心にて(2)物定(1)時又(1)物定
B 閉鎖間の破音
有心にて(2)大切時又(1)物定
有心にて(2)時又(1)物定
C 母音間の有声
(2)物定(1)時又(1)物定

(1)雑音弱
(2)雑音

(1)雑音無声
(2)雑音

心外雑言

心外雑言

動脈波法

(A) 橈骨

(B) 頸動

(一) 動脈波

(第一) 動脈波

(第二) 動脈波

(三) 脈数

(四) 脈性

(五) 脈律

(六) 脈時

(七) 脈幅

(八) 脈形

(九) 脈勢

(十) 脈緊張

(十一) 脈壁

(十二) 脈管

(十三) 脈血管

(十四) 脈管

(十五) 脈管

(十六) 脈管

(十七) 脈管

(十八) 脈管

(十九) 脈管

(二十) 脈管

(二十一) 脈管

(二十二) 脈管

(二十三) 脈管

(二十四) 脈管

(二十五) 脈管

(二十六) 脈管

(二十七) 脈管

(二十八) 脈管

(二十九) 脈管

(三十) 脈管

(三十一) 脈管

(三十二) 脈管

(三十三) 脈管

(三十四) 脈管

(三十五) 脈管

(三十六) 脈管

(三十七) 脈管

(三十八) 脈管

(三十九) 脈管

(四十) 脈管

(四十一) 脈管

(四十二) 脈管

(四十三) 脈管

(四十四) 脈管

(四十五) 脈管

(四十六) 脈管

(四十七) 脈管

(四十八) 脈管

(四十九) 脈管

(五十) 脈管

(五十一) 脈管

(五十二) 脈管

(五十三) 脈管

(五十四) 脈管

(五十五) 脈管

(五十六) 脈管

(五十七) 脈管

(五十八) 脈管

(五十九) 脈管

(六十) 脈管

(六十一) 脈管

(六十二) 脈管

(六十三) 脈管

(六十四) 脈管

(六十五) 脈管

(六十六) 脈管

(六十七) 脈管

(六十八) 脈管

(六十九) 脈管

(七十) 脈管

(七十一) 脈管

(七十二) 脈管

(七十三) 脈管

(七十四) 脈管

(七十五) 脈管

(七十六) 脈管

(七十七) 脈管

(七十八) 脈管

(七十九) 脈管

(八十) 脈管

(八十一) 脈管

(八十二) 脈管

(八十三) 脈管

(八十四) 脈管

(八十五) 脈管

(八十六) 脈管

(八十七) 脈管

(八十八) 脈管

(八十九) 脈管

(九十) 脈管

(九十一) 脈管

(九十二) 脈管

(九十三) 脈管

(九十四) 脈管

(九十五) 脈管

(九十六) 脈管

(九十七) 脈管

(九十八) 脈管

(九十九) 脈管

(百) 脈管

(百一) 脈管

(百二) 脈管

(百三) 脈管

(百四) 脈管

(百五) 脈管

(百六) 脈管

(百七) 脈管

(百八) 脈管

(百九) 脈管

(百十) 脈管

(百十一) 脈管

(百十二) 脈管

(百十三) 脈管

(百十四) 脈管

(百十五) 脈管

(百十六) 脈管

(百十七) 脈管

(百十八) 脈管

(百十九) 脈管

(百二十) 脈管

(百二十一) 脈管

(百二十二) 脈管

(百二十三) 脈管

(百二十四) 脈管

(百二十五) 脈管

(百二十六) 脈管

(百二十七) 脈管

(百二十八) 脈管

(百二十九) 脈管

(百三十) 脈管

(百三十一) 脈管

(百三十二) 脈管

(百三十三) 脈管

(百三十四) 脈管

(百三十五) 脈管

(百三十六) 脈管

(百三十七) 脈管

(百三十八) 脈管

(百三十九) 脈管

(百四十) 脈管

(百四十一) 脈管

(百四十二) 脈管

(百四十三) 脈管

(百四十四) 脈管

(百四十五) 脈管

(百四十六) 脈管

(百四十七) 脈管

(百四十八) 脈管

(百四十九) 脈管

(百五十) 脈管

(百五十一) 脈管

(百五十二) 脈管

(百五十三) 脈管

(百五十四) 脈管

(百五十五) 脈管

(百五十六) 脈管

(百五十七) 脈管

(百五十八) 脈管

(百五十九) 脈管

(百六十) 脈管

(百六十一) 脈管

(百六十二) 脈管

(百六十三) 脈管

(百六十四) 脈管

(百六十五) 脈管

(百六十六) 脈管

(百六十七) 脈管

(百六十八) 脈管

(百六十九) 脈管

(百七十) 脈管

(百七十一) 脈管

(百七十二) 脈管

(百七十三) 脈管

(百七十四) 脈管

(百七十五) 脈管

(百七十六) 脈管

(百七十七) 脈管

(百七十八) 脈管

(百七十九) 脈管

(百八十) 脈管

(百八十一) 脈管

(百八十二) 脈管

(百八十三) 脈管

(百八十四) 脈管

(百八十五) 脈管

(百八十六) 脈管

(百八十七) 脈管

(百八十八) 脈管

(百八十九) 脈管

(百九十) 脈管

(百九十一) 脈管

(百九十二) 脈管

(百九十三) 脈管

(百九十四) 脈管

(百九十五) 脈管

(百九十六) 脈管

(百九十七) 脈管

(百九十八) 脈管

(百九十九) 脈管

(二百) 脈管

(二百一) 脈管

(二百二) 脈管

(二百三) 脈管

(二百四) 脈管

(二百五) 脈管

(二百六) 脈管

(二百七) 脈管

(二百八) 脈管

(二百九) 脈管

(二百十) 脈管

(二百十一) 脈管

(二百十二) 脈管

(二百十三) 脈管

(二百十四) 脈管

(二百十五) 脈管

(二百十六) 脈管

(二百十七) 脈管

(二百十八) 脈管

(二百十九) 脈管

(二百二十) 脈管

(二百二十一) 脈管

(二百二十二) 脈管

(二百二十三) 脈管

(二百二十四) 脈管

(二百二十五) 脈管

(二百二十六) 脈管

(二百二十七) 脈管

(二百二十八) 脈管

(二百二十九) 脈管

(二百三十) 脈管

(二百三十一) 脈管

(二百三十二) 脈管

(二百三十三) 脈管

(二百三十四) 脈管

(二百三十五) 脈管

(二百三十六) 脈管

(二百三十七) 脈管

(二百三十八) 脈管

(二百三十九) 脈管

(二百四十) 脈管

(二百四十一) 脈管

(二百四十二) 脈管

(二百四十三) 脈管

(二百四十四) 脈管

(二百四十五) 脈管

(二百四十六) 脈管

(二百四十七) 脈管

(二百四十八) 脈管

(二百四十九) 脈管

(二百五十) 脈管

(二百五十一) 脈管

(二百五十二) 脈管

(二百五十三) 脈管

(二百五十四) 脈管

(二百五十五) 脈管

(二百五十六) 脈管

(二百五十七) 脈管

(二百五十八) 脈管

(二百五十九) 脈管

(二百六十) 脈管

(二百六十一) 脈管

(二百六十二) 脈管

(二百六十三) 脈管

(二百六十四) 脈管

(二百六十五) 脈管

(二百六十六) 脈管

(二百六十七) 脈管

(二百六十八) 脈管

(二百六十九) 脈管

(二百七十) 脈管

(二百七十一) 脈管

(二百七十二) 脈管

(二百七十三) 脈管

(二百七十四) 脈管

(二百七十五) 脈管

(二百七十六) 脈管

(二百七十七) 脈管

(二百七十八) 脈管

(二百七十九) 脈管

(二百八十) 脈管

(二百八十一) 脈管

(二百八十二) 脈管

(二百八十三) 脈管

(二百八十四) 脈管

(二百八十五) 脈管

(二百八十六) 脈管

(二百八十七) 脈管

(二百八十八) 脈管

(二百八十九) 脈管

(二百九十) 脈管

(二百九十一) 脈管

(二百九十二) 脈管

(二百九十三) 脈管

(二百九十四) 脈管

(二百九十五) 脈管

(二百九十六) 脈管

(二百九十七) 脈管

(二百九十八) 脈管

(二百九十九) 脈管

(三百) 脈管

(三百一) 脈管

(三百二) 脈管

(三百三) 脈管

(三百四) 脈管

(三百五) 脈管

(三百六) 脈管

(三百七) 脈管

(三百八) 脈管

(三百九) 脈管

(三百十) 脈管

(三百十一) 脈管

(三百十二) 脈管

(三百十三) 脈管

(三百十四) 脈管

(三百十五) 脈管

(三百十六) 脈管

(三百十七) 脈管

(三百十八) 脈管

(三百十九) 脈管

(三百二十) 脈管

(三百二十一) 脈管

(三百二十二) 脈管

(三百二十三) 脈管

(三百二十四) 脈管

(三百二十五) 脈管

(三百二十六) 脈管

(三百二十七) 脈管

(三百二十八) 脈管

(三百二十九) 脈管

(三百三十) 脈管

(三百三十一) 脈管

(三百三十二) 脈管

(三百三十三) 脈管

(三百三十四) 脈管

(三百三十五) 脈管

(三百三十六) 脈管

(三百三十七) 脈管

(三百三十八) 脈管

(三百三十九) 脈管

(三百四十) 脈管

(三百四十一) 脈管

(三百四十二) 脈管

(三百四十三) 脈管

(三百四十四) 脈管

(三百四十五) 脈管

(三百四十六) 脈管

(三百四十七) 脈管

(三百四十八) 脈管

(三百四十九) 脈管

(三百五十) 脈管

(三百五十一) 脈管

(三百五十二) 脈管

(三百五十三) 脈管

(三百五十四) 脈管

(三百五十五) 脈管

(三百五十六) 脈管

(三百五十七) 脈管

(三百五十八) 脈管

(三百五十九) 脈管

(三百六十) 脈管

(三百六十一) 脈管

(三百六十二) 脈管

(三百六十三) 脈管

(三百六十四) 脈管

(三百六十五) 脈管

(三百六十六) 脈管

(三百六十七) 脈管

(三百六十八) 脈管

(三百六十九) 脈管

(三百七十) 脈管

(三百七十一) 脈管

(三百七十二) 脈管

(三百七十三) 脈管

(三百七十四) 脈管

(三百七十五) 脈管

(三百七十六) 脈管

(三百七十七) 脈管

(三百七十八) 脈管

(三百七十九) 脈管

(三百八十) 脈管

(三百八十一) 脈管

(三百八十二) 脈管

(三百八十三) 脈管

(三百八十四) 脈管

(三百八十五) 脈管

(三百八十六) 脈管

(三百八十七) 脈管

(三百八十八) 脈管

(三百八十九) 脈管

(三百九十) 脈管

(三百九十一) 脈管

(三百九十二) 脈管

(三百九十三) 脈管

(三百九十四) 脈管

(三百九十五) 脈管

(三百九十六) 脈管

(三百九十七) 脈管

(三百九十八) 脈管

(三百九十九) 脈管

(四百) 脈管

(四百一) 脈管

(四百二) 脈管

(四百三) 脈管

(四百四) 脈管

(四百五) 脈管

(四百六) 脈管

(四百七) 脈管

(四百八) 脈管

(四百九) 脈管

(四百十) 脈管

(四百十一) 脈管

(四百十二) 脈管

(四百十三) 脈管

(四百十四) 脈管

(四百十五) 脈管

(四百十六) 脈管

(四百十七) 脈管

(四百十八) 脈管

(四百十九) 脈管

(四百二十) 脈管

(四百二十一) 脈管

(四百二十二) 脈管

(四百二十三) 脈管

(四百二十四) 脈管

(四百二十五) 脈管

(四百二十六) 脈管

(四百二十七) 脈管

(四百二十八) 脈管

(四百二十九) 脈管

(四百三十) 脈管

(四百三十一) 脈管

(四百三十二) 脈管

(四百三十三) 脈管

(四百三十四) 脈管

(四百三十五) 脈管

(四百三十六) 脈管

(四百三十七) 脈管

(四百三十八) 脈管

(四百三十九) 脈管

(四百四十) 脈管

(四百四十一) 脈管

(四百四十二) 脈管

(四百四十三) 脈管

(四百四十四) 脈管

(四百四十五) 脈管

(四百四十六) 脈管

(四百四十七) 脈管

(四百四十八) 脈管

(四百四十九) 脈管

(四百五十) 脈管

(四百五十一) 脈管

(四百五十二) 脈管

(四百五十三) 脈管

(四百五十四) 脈管

(四百五十五) 脈管

(四百五十六) 脈管

(四百五十七) 脈管

(四百五十八) 脈管

(四百五十九) 脈管

(四百六十) 脈管

(四百六十一) 脈管

(四百六十二) 脈管

(四百六十三) 脈管

(四百六十四) 脈管

(四百六十五) 脈管

(四百六十六) 脈管

(四百六十七) 脈管

(四百六十八) 脈管

(四百六十九) 脈管

(四百七十) 脈管

(四百七十一) 脈管

(四百七十二) 脈管

(四百七十三) 脈管

(四百七十四) 脈管

(四百七十五) 脈管

(四百七十六) 脈管

(四百七十七) 脈管

(四百七十八) 脈管

(四百七十九) 脈管

(四百八十) 脈管

(四百八十一) 脈管

(四百八十二) 脈管

(四百八十三) 脈管

(四百八十四) 脈管

(四百八十五) 脈管

(四百八十六) 脈管

(四百八十七) 脈管

(四百八十八) 脈管

(四百八十九) 脈管

(四百九十) 脈管

(四百九十一) 脈管

(四百九十二) 脈管

(四百九十三) 脈管

(四百九十四) 脈管

(四百九十五) 脈管

(四百九十六) 脈管

(四百九十七) 脈管

(四百九十八) 脈管

(四百九十九) 脈管

(五百) 脈管

(五百一) 脈管

(五百二) 脈管

(五百三) 脈管

(五百四) 脈管

(五百五) 脈管

(五百六) 脈管

(五百七) 脈管

(五百八) 脈管

(五百九) 脈管

(五百十) 脈管

(五百十一) 脈管

(五百十二) 脈管

(五百十三) 脈管

(五百十四) 脈管

(五百十五) 脈管

(五百十六) 脈管

(五百十七) 脈管

(五百十八) 脈管

(五百十九) 脈管

(五百二十) 脈管

(五百二十一) 脈管

(五百二十二) 脈管

(五百二十三) 脈管

(五百二十四) 脈管

(五百二十五) 脈管

(五百二十六) 脈管

(五百二十七) 脈管

(五百二十八) 脈管

(五百二十九) 脈管

(五百三十) 脈管

(五百三十一) 脈管

(五百三十二) 脈管

(五百三十三) 脈管

(五百三十四) 脈管

(五百三十五) 脈管

(五百三十六) 脈管

(五百三十七) 脈管

(五百三十八) 脈管

(五百三十九) 脈管

(五百四十) 脈管

(五百四十一) 脈管

(五百四十二) 脈管

(五百四十三) 脈管

(五百四十四) 脈管

(五百四十五) 脈管

(五百四十六) 脈管

(五百四十七) 脈管

(五百四十八) 脈管

(五百四十九) 脈管

(五百五十) 脈管

(五百五十一) 脈管

(五百五十二) 脈管

(五百五十三) 脈管

(五百五十四) 脈管

(五百五十五) 脈管

(五百五十六) 脈管

(五百五十七) 脈管

(五百五十八) 脈管

(五百五十九) 脈管

(五百六十) 脈管

(五百六十一) 脈管

(五百六十二) 脈管

(五百六十三) 脈管

(五百六十四) 脈管

(五百六十五) 脈管

(五百六十六) 脈管

(五百六十七) 脈管

(五百六十八) 脈管

(五百六十九) 脈管

(五百七十) 脈管

(五百七十一) 脈管

(五百七十二) 脈管

(五百七十三) 脈管

(五百七十四) 脈管

(五百七十五) 脈管

(五百七十六) 脈管

(五百七十七) 脈管

(五百七十八) 脈管

(五百七十九) 脈管

(五百八十) 脈管

(五百八十一) 脈管

(五百八十二) 脈管

(五百八十三) 脈管

(五百八十四) 脈管

(五百八十五) 脈管

(五百八十六) 脈管

(五百八十七) 脈管

(五百八十八) 脈管

(五百八十九) 脈管

(五百九十) 脈管

(五百九十一) 脈管

(五百九十二) 脈管

(五百九十三) 脈管

(五百九十四) 脈管

(五百九十五) 脈管

(五百九十六) 脈管

(五百九十七) 脈管

(五百九十八) 脈管

(五百九十九) 脈管

(六百) 脈管

(六百一) 脈管

(六百二) 脈管

(六百三) 脈管

(六百四) 脈管

(六百五) 脈管

(六百六) 脈管

(六百七) 脈管

(六百八) 脈管

(六百九) 脈管

(六百十) 脈管

(六百十一) 脈管

(六百十二) 脈管

(六百十三) 脈管

(六百十四) 脈管

(六百十五) 脈管

(六百十六) 脈管

(六百十七) 脈管

(六百十八) 脈管

(六百十九) 脈管

(六百二十) 脈管

(六百二十一) 脈管

(六百二十二) 脈管

(六百二十三) 脈管

(六百二十四) 脈管

(六百二十五) 脈管

(六百二十六) 脈管

(六百二十七) 脈管

(六百二十八) 脈管

(六百二十九) 脈管

(六百三十) 脈管

(六百三十一) 脈管

(六百三十二) 脈管

(六百三十三) 脈管

(六百三十四) 脈管

(六百三十五) 脈管

(六百三十六) 脈管

(六百三十七) 脈管

(六百三十八) 脈管

(六百三十九) 脈管

(六百四十) 脈管

(六百四十一) 脈管

(六百四十二) 脈管

(六百四十三) 脈管

(六百四十四) 脈管

(六百四十五) 脈管

(六百四十六) 脈管

(六百四十七) 脈管

(六百四十八) 脈管

(六百四十九) 脈管

(六百五十) 脈管

(六百五十一) 脈管

(六百五十二) 脈管

(六百五十三) 脈管

(六百五十四) 脈管

(六百五十五) 脈管

(六百五十六) 脈管

(六百五十七) 脈管

(六百五十八) 脈管

(六百五十九) 脈管

(六百六十) 脈管

(六百六十一) 脈管

(六百六十二) 脈管

(六百六十三) 脈管

(六百六十四) 脈管

(六百六十五) 脈管

(六百六十六) 脈管

(六百六十七) 脈管

(六百六十八) 脈管

(六百六十九) 脈管

(六百七十) 脈管

(六百七十一) 脈管

(六百七十二) 脈管

(六百七十三) 脈管

(六百七十四) 脈管

(六百七十五) 脈管

(六百七十六) 脈管

(六百七十七) 脈管

(六百七十八) 脈管

(六百七十九) 脈管

(六百八十) 脈管

(六百八十一) 脈管

(六百八十二) 脈管

(六百八十三) 脈管

(六百八十四) 脈管

(六百八十五) 脈管

(六百八十六) 脈管

(六百八十七) 脈管

(六百八十八) 脈管

(六百八十九) 脈管

(六百九十) 脈管

(六百九十一) 脈管

(六百九十二) 脈管

(六百九十三) 脈管

(六百九十四) 脈管

(六百九十五) 脈管

(六百九十六) 脈管

(六百九十七) 脈管

(六百九十八) 脈管

(六百九十九) 脈管

(七百) 脈管

(七百一) 脈管

(七百二) 脈管

(七百三) 脈管

(七百四) 脈管

(七百五) 脈管

(七百六) 脈管

(七百七) 脈管

(七百八) 脈管

(七百九) 脈管

(七百十) 脈管

(七百十一) 脈管

(七百十二) 脈管

(七百十三) 脈管

(七百十四) 脈管

(七百十五) 脈管

(七百十六) 脈管

(七百十七) 脈管

(七百十八) 脈管

(七百十九) 脈管

(七百二十) 脈管

(七百二十一) 脈管

(七百二十二) 脈管

(七百二十三) 脈管

(七百二十四) 脈管

(七百二十五) 脈管

(七百二十六) 脈管

(七百二十七) 脈管

(七百二十八) 脈管

(七百二十九) 脈管

(七百三十) 脈管

(七百三十一) 脈管

(七百三十二) 脈管

(七百三十三) 脈管

(七百三十四) 脈管

(七百三十五) 脈管

(七百三十六) 脈管

(七百三十七) 脈管

(七百三十八) 脈管

(七百三十九) 脈管

(七百四十) 脈管

(七百四十一) 脈管

(七百四十二) 脈管

(七百四十三) 脈管

(七百四十四) 脈管

(七百四十五) 脈管

(七百四十六) 脈管

(七百四十七) 脈管

(七百四十八) 脈管

(七百四十九) 脈管

(七百五十) 脈管

(七百五十一) 脈管

(七百五十二) 脈管

(七百五十三) 脈管

(七百五十四) 脈管

(七百五十五) 脈管

(七百五十六) 脈管

(七百五十七) 脈管

(七百五十八) 脈管

(七百五十九) 脈管

(七百六十) 脈管

(七百六十一) 脈管

(七百六十二) 脈管

(七百六十三) 脈管

(七百六十四) 脈管

(七百六十五) 脈管

(七百六十六) 脈管

(七百六十七) 脈管

(七百六十八) 脈管

(七百六十九) 脈管

(七百七十) 脈管

(七百七十一) 脈管

(七百七十二) 脈管

(七百七十三) 脈管

(七百七十四) 脈管

(七百七十五) 脈管

(七百七十六) 脈管

(七百七十七) 脈管

(七百七十八) 脈管

(七百七十九) 脈管

(七百八十) 脈管

(七百八十一) 脈管

(七百八十二) 脈管

(七百八十三) 脈管

(七百八十四) 脈管

(七百八十五) 脈管

(七百八十六) 脈管

(七百八十七) 脈管

(七百八十八) 脈管

(七百八十九) 脈管

(七百九十) 脈管

(七百九十一) 脈管

(七百九十二) 脈管

(七百九十三) 脈管

(七百九十四) 脈管

(七百九十五) 脈管

(七百九十六) 脈管

(七百九十七) 脈管

(七百九十八) 脈管

(七百九十九) 脈管

(八百) 脈管

(八百一) 脈管

(八百二) 脈管

(八百三) 脈管

(八百四) 脈管

(八百五) 脈管

(八百六) 脈管

(八百七) 脈管

(八百八) 脈管

(八百九) 脈管

(八百十) 脈管

(八百十一) 脈管

(八百十二) 脈管

(八百十三) 脈管

(八百十四) 脈管

(八百十五) 脈管

(八百十六) 脈管

(八百十七) 脈管

(八百十八) 脈管

(八百十九) 脈管

(八百二十) 脈管

(八百二十一) 脈管

(八百二十二) 脈管

(八百二十三) 脈管

(八百二十四) 脈管

(八百二十五) 脈管

(八百二十六) 脈管

(八百二十七) 脈管

(八百二十八) 脈管

(八百二十九) 脈管

(八百三十) 脈管

(八百三十一) 脈管

(八百三十二) 脈管

(八百三十三) 脈管

(八百三十四) 脈管

(八百三十五) 脈管

(八百三十六) 脈管

(八百三十七) 脈管

(八百三十八) 脈管

(八百三十九) 脈管

(八百四十) 脈管

(八百四十一) 脈管

(八百四十二) 脈管

(八百四十三) 脈管

(八百四十四) 脈管

(八百四十五) 脈管

(八百四十六) 脈管

(八百四十七) 脈管

(八百四十八) 脈管

(八百四十九) 脈管

(八百五十) 脈管

(八百五十一) 脈管

(八百五十二) 脈管

(八百五十三) 脈管

(八百五十四) 脈管

(八百五十五) 脈管

(八百五十六) 脈管

(八百五十七) 脈管

(八百五十八) 脈管

(八百五十九) 脈管

(八百六十) 脈管

(八百六十一) 脈管

(八百六十二) 脈管

(八百六十三) 脈管

(八百六十四) 脈管

(八百六十五) 脈管

(八百六十六) 脈管

(八百六十七) 脈管

(八百六十八) 脈管

(八百六十九) 脈管

(八百七十) 脈管

(八百七十一) 脈管

(八百七十二) 脈管

(八百七十三) 脈管

(八百七十四) 脈管

(八百七十五) 脈管

(八百七十六) 脈管

(八百七十七) 脈管

(八百七十八) 脈管

(八百七十九) 脈管

(八百八十) 脈管

(八百八十一) 脈管

(八百八十二) 脈管

(八百八十三) 脈管

(八百八十四) 脈管

(八百八十五) 脈管

(八百八十六) 脈管

(八百八十七) 脈管

(八百八十八) 脈管

(八百八十九) 脈管

(八百九十) 脈管

(八百九十一) 脈管

(八百九十二) 脈管

(八百九十三) 脈管

(八百九十四) 脈管

(八百九十五) 脈管

(八百九十六) 脈管

(八百九十七) 脈管

(八百九十八) 脈管

(八百九十九) 脈管

(九百) 脈管

(九百一) 脈管

(九百二) 脈管

(九百三) 脈管

(九百四) 脈管

(九百五) 脈管

(九百六) 脈管

(九百七) 脈管

(九百八) 脈管

(九百九) 脈管

(九百十) 脈管

(九百十一) 脈管

(九百十二) 脈管

(九百十三) 脈管

(九百十四) 脈管

(九百十五) 脈管

(九百十六) 脈管

(九百十七) 脈管

(九百十八) 脈管

(九百十九) 脈管

(九百二十) 脈管

(九百二十一) 脈管

(九百二十二) 脈管

(九百二十三) 脈管

(九百二十四) 脈管

(九百二十五) 脈管

(九百二十六) 脈管

(九百二十七) 脈管

(九百二十八) 脈管

(九百二十九) 脈管

(九百三十) 脈管

(九百三十一) 脈管

(九百三十二) 脈管

(九百三十三) 脈管

(九百三十四) 脈管

(九百三十五) 脈管

(九百三十六) 脈管

(九百三十七) 脈管

(九百三十八) 脈管

(九百三十九) 脈管

(九百四十) 脈管

(九百四十一) 脈管

(九百四十二) 脈管

(九百四十三) 脈管

(九百四十四) 脈管

(九百四十五) 脈管

(九百四十六) 脈管

(九百四十七) 脈管

(九百四十八) 脈管

(九百四十九) 脈管

(九百五十) 脈管

(九百五十一) 脈管

(九百五十二) 脈管

(九百五十三) 脈管

(九百五十四) 脈管

(九百五十五) 脈管

(九百五十六) 脈管

(九百五十七) 脈管

(九百五十八) 脈管

(九百五十九) 脈管

(九百六十) 脈管

(九百六十一) 脈管

(九百六十二) 脈管

(九百六十三) 脈管

(九百六十四) 脈管

(九百六十五) 脈管

(九百六十六) 脈管

(九百六十七) 脈管

(九百六十八) 脈管

(九百六十九) 脈管

(九百七十) 脈管

(九百七十一) 脈管

(九百七十二) 脈管

(九百七十三) 脈管

(九百七十四) 脈管

(九百七十五) 脈管

(九百七十六) 脈管

(九百七十七) 脈管

(九百七十八) 脈管

(九百七十九) 脈管

(九百八十) 脈管

(九百八十一) 脈管

(九百八十二) 脈管

(九百八十三) 脈管

(九百八十四) 脈管

(九百八十五) 脈管

(九百八十六) 脈管

(九百八十七) 脈管

(九百八十八) 脈管

(九百八十九) 脈管

(九百九十) 脈管

(九百九十一) 脈管

(九百九十二) 脈管

(九百九十三) 脈管

(九百九十四) 脈管

(九百九十五) 脈管

(九百九十六) 脈管

(九百九十七) 脈管

(九百九十八) 脈管

(九百九十九) 脈管

(千) 脈管

(千一) 脈管

(千二) 脈管

(千三) 脈管

(千四) 脈管

(千五) 脈管

(千六) 脈管

(千七) 脈管

(千八) 脈管

(千九) 脈管

(千十) 脈管

(千十一) 脈管

(千十二) 脈管

(千十三) 脈管

(千十四) 脈管

(千十五) 脈管

(千十六) 脈管

(千十七) 脈管

(千十八) 脈管

(千十九) 脈管

(千二十) 脈管

(千二十一) 脈管

(千二十二) 脈管

(千二十三) 脈管

(千二十四) 脈管

(千二十五) 脈管

(千二十六) 脈管

(千二十七) 脈管

(千二十八) 脈管

(千二十九) 脈管

(千三十) 脈管

(千三十一) 脈管

(千三十二) 脈管

(千三十三) 脈管

(千三十四) 脈管

(千三十五) 脈管

(千三十六) 脈管

(千三十七) 脈管

(千三十八) 脈管

(千三十九) 脈管

(千四十) 脈管

(千四十一) 脈管

(千四十二) 脈管

(千四十三) 脈管

(千四十四) 脈管

(千四十五) 脈管

(千四十六) 脈管

(千四十七) 脈管

(千四十八) 脈管

(千四十九) 脈管

(千五十) 脈管

(千五十一) 脈管

(千五十二) 脈管

(千五十三) 脈管

(千五十四) 脈管

(千五十五) 脈管

(千五十六) 脈管

(千五十七) 脈管

(千五十八) 脈管

(千五十九) 脈管

(千六十) 脈管

(千六十一) 脈管

(千六十二) 脈管

(千六十三) 脈管

(千六十四) 脈管

(千六十五) 脈管

(千六十六) 脈管

(千六十七) 脈管

(千六十八) 脈管

(千六十九) 脈管

(千七十) 脈管

(千七十一) 脈管

(千七十二) 脈管

(千七十三) 脈管

(千七十四) 脈管

(千七十五) 脈管

(千七十六) 脈管

(千七十七) 脈管

(千七十八) 脈管

(千七十九) 脈管

(千八十) 脈管

(千八十一) 脈管

(千八十二) 脈管

(千八十三) 脈管

(千八十四) 脈管

(千八十五) 脈管

(千八十六) 脈管

(千八十七) 脈管

(千八十八) 脈管

(千八十九) 脈管

(千九十) 脈管

(千九十一) 脈管

(千九十二) 脈管

(千九十三) 脈管

(千九十四) 脈管

(千九十五) 脈管

(千九十六) 脈管

(千九十七) 脈管

(千九十八) 脈管

(千九十九) 脈管

(千百) 脈管

(千百一) 脈管

(千百二) 脈管

(千百三) 脈管

(千百四) 脈管

(千百五) 脈管

(千百六) 脈管

(千百七) 脈管

(千百八) 脈管

(千百九) 脈管

(千百十) 脈管

(千百十一) 脈管

(千百十二) 脈管

(千百十三) 脈管

(千百十四) 脈管

(千百十五) 脈管

(千百十六) 脈管

(千百十七) 脈管

(千百十八) 脈管

(千百十九) 脈管

(千百二十) 脈管

(千百二十一) 脈管

(千百二十二) 脈管

(千百二十三) 脈管

(千百二十四) 脈管

(千百二十五) 脈管

(千百二十六) 脈管

(千百二十七) 脈管

(千百二十八) 脈管

(千百二十九) 脈管

(千百三十) 脈管

(千百三十一) 脈管

(千百三十二) 脈管

(千百三十三) 脈管

(千百三十四) 脈管

(千百三十五) 脈管

(千百三十六) 脈管

(千百三十七) 脈管

(千百三十八) 脈管

(千百三十九) 脈管

(千百四十) 脈管

(千百四十一) 脈管

(千百四十二) 脈管

(千百四十三) 脈管

(千百四十四) 脈管

(千百四十五) 脈管

(千百四十六) 脈管

(千百四十七) 脈管

(千百四十八) 脈管

(千百四十九) 脈管

(千百五十) 脈管

(千百五十一) 脈管

(千百五十二) 脈管

(千百五十三) 脈管

(千百五十四) 脈管

(千百五十五) 脈管

(千百五十六) 脈管

(千百五十七) 脈管

(千百五十八) 脈管

(千百五十九) 脈管

(千百六十) 脈管

(千百六十一) 脈管

(千百六十二) 脈管

(千百六十三) 脈管

(千百六十四) 脈管

(千百六十五) 脈管

(千百六十六) 脈管

(千百六十七) 脈管

(千百六十八) 脈管

(千百六十九) 脈管

(千百七十) 脈管

(千百七十一) 脈管

(千百七十二) 脈管

(千百七十三) 脈管

(千百七十四) 脈管

(千百七十五) 脈管

(千百七十六) 脈管

(千百七十七) 脈管

(千百七十八) 脈管

(千百七十九) 脈管

(千百八十) 脈管

(千百八十一) 脈管

(千百八十二) 脈管

(千百八十三) 脈管

(千百八十四) 脈管

(千百八十五) 脈管

(千百八十六) 脈管

(千百八十七) 脈管

(千百八十八) 脈管

(千百八十九) 脈管

(千百九十) 脈管

(千百九十一) 脈管

(千百九十二) 脈管

(千百九十三) 脈管

(千百九十四) 脈管

(千百九十五) 脈管

(千百九十六) 脈管

(千百九十七) 脈管

(千百九十八) 脈管

(千百九十九) 脈管

(千二百) 脈管

(千二百一) 脈管

(千二百二) 脈管

(千二百三) 脈管

(千二百四) 脈管

(千二百五) 脈管

(千二百六) 脈管

(千二百七) 脈管

(千二百八) 脈管

(千二百九) 脈管

(千二百十) 脈管

(千二百十一) 脈管

(千二百十二) 脈管

(千二百十三) 脈管

(千二百十四) 脈管

(千二百十五) 脈管

(千二百十六) 脈管

(千二百十七) 脈管

(千二百十八) 脈管

(千二百十九) 脈管

(千二百二十) 脈管

(千二百二十一) 脈管

(千二百二十二) 脈管

(千二百二十三) 脈管

(千二百二十四) 脈管

(千二百二十五) 脈管

(千二百二十六) 脈管

(千二百二十七) 脈管

(千二百二十八) 脈管

(千二百二十九) 脈管

(千二百三十) 脈管

(千二百三十一) 脈管

(千二百三十二) 脈管

(千二百三十三) 脈管

(千二百三十四) 脈管

(千二百三十五) 脈管

(千二百三十六) 脈管

(千二百三十七) 脈管

(千二百三十八) 脈管

(千二百三十九) 脈管

(千二百四十) 脈管

(千二百四十一) 脈管

(千二百四十二) 脈管

(千二百四十三) 脈管

(千二百四十四) 脈管

(千二百四十五) 脈管

(千二百四十六) 脈管

(千二百四十七) 脈管

(千二百四十八) 脈管

(千二百四十九) 脈管

(千二百五十) 脈管

(千二百五十一) 脈管

(千二百五十二) 脈管

(千二百五十三) 脈管

(千二百五十四) 脈管

(千二百五十五) 脈管

(千二百五十六) 脈管

(千二百五十七) 脈管

(千二百五十八) 脈管

(千二百五十九) 脈管

(千二百六十) 脈管

(千二百六十一) 脈管

(千二百六十二) 脈管

(千二百六十三) 脈管

(千二百六十四) 脈管

(千二百六十五) 脈管

(千二百六十六) 脈管

(千二百六十七) 脈管

(千二百六十八) 脈管

(千二百六十九) 脈管

(千二百七十) 脈管

(千二百七十一) 脈管

(千二百七十二) 脈管

(千二百七十三) 脈管

(千二百七十四) 脈管

(千二百七十五) 脈管

(千二百七十六) 脈管

(千二百七十七) 脈管

(千二百七十八) 脈管

(千二百七十九) 脈管

(千二百八十) 脈管

(千二百八十一) 脈管

(千二百八十二) 脈管

(千二百八十三) 脈管

(千二百八十四) 脈管

(千二百八十五) 脈管

(千二百八十六) 脈管

(千二百八十七) 脈管

(千二百八十八) 脈管

(千二百八十九) 脈管

(千二百九十) 脈管

(千二百九十一) 脈管

(千二百九十二) 脈管

(千二百九十三) 脈管

(千二百九十四) 脈管

(千二百九十五) 脈管

(千二百九十六) 脈管

(千二百九十七) 脈管

(千二百九十八) 脈管

(千二百九十九) 脈管

(千三百) 脈管

(千三百一) 脈管

(千三百二) 脈管

(千三百三) 脈管

(千三百四) 脈管

(千三百五) 脈管

(千三百六) 脈管

(千三百七) 脈管

(千三百八) 脈管

(千三百九) 脈管

(千三百十) 脈管

(千三百十一) 脈管

(千三百十二) 脈管

(千三百十三) 脈管

(千三百十四) 脈管

(千三百十五) 脈管

(千三百十六) 脈管

(千三百十七) 脈管

(千三百十八) 脈管

(千三百十九) 脈管

(千三百二十) 脈管

(千三百二十一) 脈管

(千三百二十二) 脈管

(千三百二十三) 脈管

(千三百二十四) 脈管

(千三百二十五) 脈管

(千三百二十六) 脈管

(千三百二十七) 脈管

(千三百二十八) 脈管

(千三百二十九) 脈管

(千三百三十) 脈管

(千三百三十一) 脈管

(千三百三十二) 脈管

(千三百三十三) 脈管

(千三百三十四) 脈管

(千三百三十五) 脈管

(千三百三十六) 脈管

(千三百三十七) 脈管

(千三百三十八) 脈管

(千三百三十九) 脈管

(千三百四十) 脈管

(千三百四十一) 脈管

(千三百四十二) 脈管

(千三百四十三) 脈管

(千三百四十四) 脈管

(千三百四十五) 脈管

(千三百四十六) 脈管

(千三百四十七) 脈管

(千三百四十八) 脈管

(千三百四十九) 脈管

(千三百五十) 脈管

(千三百五十一) 脈管

(千三百五十二) 脈管

(千三百五十三) 脈管

(千三百五十四) 脈管

(千三百五十五) 脈管

(千三百五十六) 脈管

(千三百五十七) 脈管

(千三百五十八) 脈管

(千三百五十九) 脈管

(千三百六十) 脈管

(千三百六十一) 脈管

(千三百六十二) 脈管

(千三百六十三) 脈管

(千三百六十四) 脈管

(千三百六十五) 脈管

(千三百六十六) 脈管

(千三百六十七) 脈管

(千三百六十八) 脈管

(千三百六十九) 脈管

(千三百七十) 脈管

(千三百七十一) 脈管

(千三百七十二) 脈管

(千三百七十三) 脈管

(千三百七十四) 脈管

(千三百七十五) 脈管

(千三百七十六) 脈管

(千三百七十七) 脈管

(千三百七十八) 脈管

(千三百七十九) 脈管

(千三百八十) 脈管

(千三百八十一) 脈管

(千三百八十二) 脈管

(千三百八十三) 脈管

(千三百八十四) 脈管

(千三百八十五) 脈管

(千三百八十六) 脈管

(千三百八十七) 脈管

(千三百八十八) 脈管

(千三百八十九) 脈管

(千三百九十) 脈管

(千三百九十一) 脈管

(千三百九十二) 脈管

(千三百九十三) 脈管

(4) 病的ノ場合ニ於ケル脈搏ノ変化

病的ノ時ニ脈搏ノ変ズルコトハ既ニ述ベタル如ク脈搏ハ心臓ノ状態ヲ知ルニ最モ重要ナル徴候ナルヲ以テ病的ノ場合ニ於ケル脈搏ノ変化ヲ知ルハ最モ必要ナリ

A 脈数 病的ノ場合ニ於テ脈搏ノ数ノ増減スルコトハ既ニ述ベタル如シ

B 脈調 脈搏ノ調ハ正調脈ト不調脈トニ分ツ

正調脈ハ脈搏ノ整ヒテ規則正シキモノヲ謂フ

不調脈ハ脈搏ノ整ハズシテ不規則ナルモノヲ謂フ

不調脈ニハ結代脈、二連脈、交代脈ノ三種アリ

1 結代脈 脈搏ノ或ル一定ノ時ニ於テ一ノ脈搏ヲ欠クモノヲ結代脈ト謂フ

2 二連脈 脈搏ノ二ツ宛相連ナリテ一ノ脈搏ヲ欠クモノヲ二連脈ト謂フ

3 交代脈 脈搏ノ大小ノ二ツ宛相交代スルモノヲ交代脈ト謂フ

C 脈性 脈性ノ変ズルコトハ既ニ述ベタル如シ

大脈 大脈ハ脈搏ノ大ナルモノヲ謂フ

脈

不整脈

奇脈

交互脈

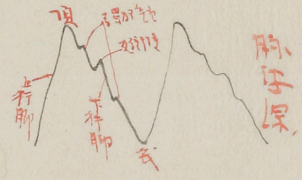
軟脈

硬脈

重複脈

脈搏計

（脈搏計線圖）



脈搏線

陰脈

十一

陰脈ハ左ノ右ヨリ著シク弱キ脈ヲイフ陰脈ハ左右ノ脈ノ強弱ヲ比較シテ知ルヲ普通トス

陰脈ハ心臓ノ左心室ノ収縮力ノ弱キ為メ又ハ大動脈ノ狭窄ノ為メ起ル

陰脈ハ脈搏計ニテ之ヲ検スルヲ最モ便利トス脈搏計ニテ検スル時ハ先ツ右橈骨動脈ニ脈搏計ノ鈕ヲ置キ次ニ左橈骨動脈ニ之ヲ置キ両者ノ脈搏ヲ比較スルナリ

陰脈ハ左ノ右ヨリ著シク弱キ脈ヲイフ陰脈ハ左右ノ脈ノ強弱ヲ比較シテ知ルヲ普通トス

陰脈ハ心臓ノ左心室ノ収縮力ノ弱キ為メ又ハ大動脈ノ狭窄ノ為メ起ル

陰脈ハ脈搏計ニテ之ヲ検スルヲ最モ便利トス脈搏計ニテ検スル時ハ先ツ右橈骨動脈ニ脈搏計ノ鈕ヲ置キ次ニ左橈骨動脈ニ之ヲ置キ両者ノ脈搏ヲ比較スルナリ

交互脈

交互脈ハ左右ノ脈ノ強弱ヲ交互ニ現ハスヲイフ

交互脈ハ左心室ノ収縮力ノ強弱ヲ交互ニ現ハス為メ又ハ大動脈ノ狭窄ノ為メ起ル

交互脈ハ脈搏計ニテ之ヲ検スルヲ最モ便利トス脈搏計ニテ検スル時ハ先ツ右橈骨動脈ニ脈搏計ノ鈕ヲ置キ次ニ左橈骨動脈ニ之ヲ置キ両者ノ脈搏ヲ比較スルナリ

軟脈

軟脈ハ脈搏ノ軟弱ナルヲイフ

軟脈ハ心臓ノ収縮力ノ弱キ為メ又ハ血圧ノ低キ為メ起ル

軟脈ハ脈搏計ニテ之ヲ検スルヲ最モ便利トス脈搏計ニテ検スル時ハ先ツ右橈骨動脈ニ脈搏計ノ鈕ヲ置キ次ニ左橈骨動脈ニ之ヲ置キ両者ノ脈搏ヲ比較スルナリ

硬脈

硬脈ハ脈搏ノ硬キヲイフ

硬脈ハ動脈硬化ノ為メ起ル

重複脈

重複脈ハ脈搏ノ重複スルヲイフ

重複脈ハ心臓ノ収縮ノ際ニ血液ノ一部ガ逆流シテ心室ニ還ルガ為メ起ル

急脈

急脈ハ脈搏ノ急ニ高マリ急ニ低クナルヲイフ

急脈ハ心臓ノ収縮力ノ強キ為メ又ハ大動脈ノ弁閉鎖不全ノ為メ起ル

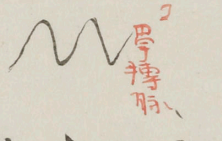
急脈ハ脈搏計ニテ之ヲ検スルヲ最モ便利トス脈搏計ニテ検スル時ハ先ツ右橈骨動脈ニ脈搏計ノ鈕ヲ置キ次ニ左橈骨動脈ニ之ヲ置キ両者ノ脈搏ヲ比較スルナリ

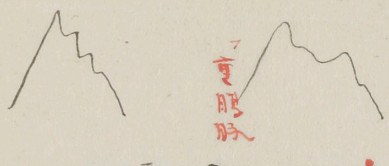
不整脈

不整脈ハ脈搏ノ不整ナルヲイフ

不整脈ハ心臓ノ収縮ノ不整ナル為メ起ル

不整脈ハ脈搏計ニテ之ヲ検スルヲ最モ便利トス脈搏計ニテ検スル時ハ先ツ右橈骨動脈ニ脈搏計ノ鈕ヲ置キ次ニ左橈骨動脈ニ之ヲ置キ両者ノ脈搏ヲ比較スルナリ





(1)

(2) 弱弦脈 張ノ弱ヲ見ル 病的ノ脈ト云ベシ

(3) 弱弦脈 弱ノ張ヲ見ル 病的ノ脈ト云ベシ

(4) 昇脈陽狀 昇ノ陽ヲ見ル 病的ノ脈ト云ベシ

(1) 重脈 重ノ弱ヲ見ル 病的ノ脈ト云ベシ

(2) 弱弦脈 弱ノ張ヲ見ル 病的ノ脈ト云ベシ

(3) 弱弦脈 弱ノ張ヲ見ル 病的ノ脈ト云ベシ

(4) 昇脈陽狀 昇ノ陽ヲ見ル 病的ノ脈ト云ベシ

奔豚

動脈奔豚

動脈奔豚ノ動脈ハ奔豚ヲ起ス脈ヲ云フ 動脈ハ大動脈ニ上行大動脈ト胸部ヨリ腹下ニ下行大動脈トアリ 上行大動脈ハ奔豚ヲ起スコトナク 下行大動脈ハ奔豚ヲ起スコトアリ 下行大動脈ハ胸部ヨリ腹下ニ下行スル大動脈ヲ云フ

D 聴次

血管ノ雑音

第四 動脈聴診

(一) 頸動脈聴診 (以下聴診ト略ス)

(二) 鎖骨下動脈聴診 (以下聴診ト略ス)

(三) 腋窩動脈聴診 (以下聴診ト略ス)

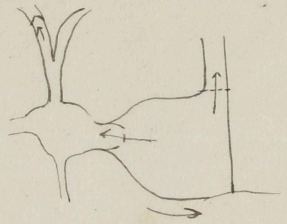
血管ノ雑音

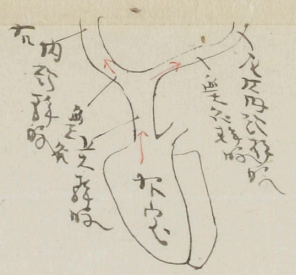
(一) 頸動脈聴診

(二) 鎖骨下動脈聴診

(三) 腋窩動脈聴診

静脈の拍動
視診
静脈の拍動
(三)静脈の拍動
(A)静脈の視診
(一)静脈の著明な拡張
局所
局所の皮膚の色
皮膚の温度
全身
全身状態
静脈拡張の程度
静脈怒張の程度
静脈怒張の範囲
静脈怒張の時間的関係
静脈怒張の経過
静脈怒張の消長
静脈怒張の持続
静脈怒張の変化
静脈怒張の左右差
静脈怒張の体位による変化
静脈怒張の呼吸による変化
静脈怒張の心臓拍動による変化
静脈怒張の動脈拍動による変化
静脈怒張の他の症状との関係
静脈怒張の原因
静脈怒張の予後
静脈怒張の治療
静脈怒張の予防
静脈怒張の歴史
静脈怒張の文献
静脈怒張の統計
静脈怒張の図譜
静脈怒張の写真
静脈怒張の模型
静脈怒張の標本
静脈怒張の実験
静脈怒張の臨床
静脈怒張の病理
静脈怒張の解剖
静脈怒張の生理
静脈怒張の化学
静脈怒張の物理
静脈怒張の数学
静脈怒張の論理
静脈怒張の哲学
静脈怒張の倫理
静脈怒張の美学
静脈怒張の宗教
静脈怒張の歴史
静脈怒張の地理
静脈怒張の経済
静脈怒張の政治
静脈怒張の法律
静脈怒張の社会
静脈怒張の教育
静脈怒張の文学
静脈怒張の芸術
静脈怒張の音楽
静脈怒張の絵画
静脈怒張の彫刻
静脈怒張の建築
静脈怒張の工業
静脈怒張の農業
静脈怒張の商業
静脈怒張の交通
静脈怒張の通信
静脈怒張の運輸
静脈怒張の保険
静脈怒張の銀行
静脈怒張の証券
静脈怒張の株式
静脈怒張の会社
静脈怒張の組合
静脈怒張の協会
静脈怒張の連盟
静脈怒張の同盟
静脈怒張の条約
静脈怒張の憲法
静脈怒張の議会
静脈怒張の選挙
静脈怒張の裁判
静脈怒張の警察
静脈怒張の軍隊
静脈怒張の戦争
静脈怒張の平和
静脈怒張の国際
静脈怒張の外交
静脈怒張の貿易
静脈怒張の為替
静脈怒張の金融
静脈怒張の財政
静脈怒張の税金
静脈怒張の予算
静脈怒張の決算
静脈怒張の監査
静脈怒張の検査
静脈怒張の試験
静脈怒張の資格
静脈怒張の免許
静脈怒張の登録
静脈怒張の戸籍
静脈怒張の住民
静脈怒張の人口
静脈怒張の統計
静脈怒張の調査
静脈怒張の研究
静脈怒張の発明
静脈怒張の特許
静脈怒張の著作
静脈怒張の出版
静脈怒張の印刷
静脈怒張の製本
静脈怒張の販売
静脈怒張の広告
静脈怒張の宣伝
静脈怒張の展覧
静脈怒張の博覧
静脈怒張の見本
静脈怒張の標本
静脈怒張の模型
静脈怒張の写真
静脈怒張の図譜
静脈怒張の文献
静脈怒張の歴史
静脈怒張の哲学
静脈怒張の倫理
静脈怒張の美学
静脈怒張の宗教
静脈怒張の地理
静脈怒張の経済
静脈怒張の政治
静脈怒張の法律
静脈怒張の社会
静脈怒張の教育
静脈怒張の文学
静脈怒張の芸術
静脈怒張の音楽
静脈怒張の絵画
静脈怒張の彫刻
静脈怒張の建築
静脈怒張の工業
静脈怒張の農業
静脈怒張の商業
静脈怒張の交通
静脈怒張の通信
静脈怒張の運輸
静脈怒張の保険
静脈怒張の銀行
静脈怒張の証券
静脈怒張の株式
静脈怒張の会社
静脈怒張の組合
静脈怒張の協会
静脈怒張の連盟
静脈怒張の同盟
静脈怒張の条約
静脈怒張の憲法
静脈怒張の議会
静脈怒張の選挙
静脈怒張の裁判
静脈怒張の警察
静脈怒張の軍隊
静脈怒張の戦争
静脈怒張の平和
静脈怒張の国際
静脈怒張の外交
静脈怒張の貿易
静脈怒張の為替
静脈怒張の金融
静脈怒張の財政
静脈怒張の税金
静脈怒張の予算
静脈怒張の決算
静脈怒張の監査
静脈怒張の検査
静脈怒張の試験
静脈怒張の資格
静脈怒張の免許
静脈怒張の登録
静脈怒張の戸籍
静脈怒張の住民
静脈怒張の人口
静脈怒張の統計
静脈怒張の調査
静脈怒張の研究
静脈怒張の発明
静脈怒張の特許
静脈怒張の著作
静脈怒張の出版
静脈怒張の印刷
静脈怒張の製本
静脈怒張の販売
静脈怒張の広告
静脈怒張の宣伝
静脈怒張の展覧
静脈怒張の博覧
静脈怒張の見本





聽診

11三月

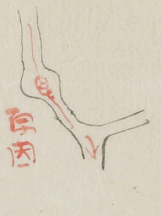
聽診ニ關スル事項 96

(B) 打診

ここに聽診と必要あり

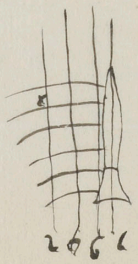
(C) 聽診

今聽診ノ聽診ニ一二注意スル一、被檢者ヲ仰臥位ニ置キ檢者ハ其ノ右側ニ立チ右手ヲ以テ被檢者ノ胸壁ノ上ニ置キ左手ヲ以テ右手ノ背面ヲ覆フ如クニシテ右手ノ指ヲ以テ胸壁ヲ輕ク叩キ其ノ響ノ變化ヲ觀察スルヲ以テ胸壁ノ下ニアル臟器ノ狀態ヲ知ルヲ打診ト云フ



呼吸器診斷法

(一) 肺呼吸診斷

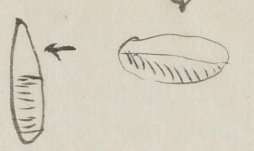


A
胆汁

肺臓手術札

(肺の里ちゃく拡)

(肺の里ちゃく拡)



病的

A

B

C

疾一般性状

一 咳痰量

(二) 吸痰色沢

A 粘液ある吸痰 無色、無臭、透明

B 膿性分泌物ある吸痰 黄緑色

C 血液ある吸痰 鮮紅色

D 膿瘍 黄色ないし黄緑色

E 肺炎 初期 鉄錆色

F 肺炎 中期 赤褐色

G 肺炎 末期 暗赤色

H 壊死 暗褐色ないし黒色

(三) 吸痰の性状

A 粘液 透明ないし白色

B 膿性 黄色ないし黄緑色

C 血液 鮮紅色

(四) 吸痰の臭気

無臭 唾液

腐敗臭 膿瘍

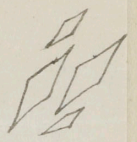
(五) 吸痰の量

多量 一日100cc以上

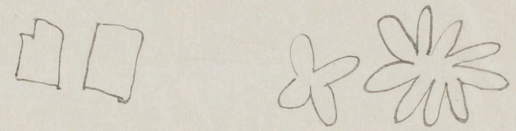
中等量 一日50cc～100cc

少量 一日50cc以下

三角皮弁ニ委ネ置キ（ママ）
第四 クルミマ氏法ヲ（ママ）
ここ最初ヨリ気ヲ付ケ注意スル様ニ
気ヲ付ケネバナラヌ、気ヲ付ケ
ネバ
ここヲ誤マルト危険ニ陥ル
ヤヤモスルト危険ニ陥ル
第五 結腸 イセヨ
路ヲ生ジ易キ別ケルベキヤ
A ニヤルコーライヒ氏法
B 腹膜針 ヲ腹壁ニ附ケル
C ヒョウソウ（ママ）ヲ
D ヘマトゥビヒ（ママ）ヲ
A ニヤルコーライヒ氏法



ここ両方ヲ結ンデ
カ、ル、ヲ
ヲ生ジ易キ
つ（ママ）
注ノ
ヲ
ヲ
ヲ



呼吸器病ノ性狀

(一) 氣管枝カラ來ル炎

ここで、声ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(二) 肺ニ生ズル炎カラ來ル咳

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(三) 氣管支炎

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(四) 肺臓ニ生ズル炎カラ來ル咳

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(五) 氣管枝擴張

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(一) 氣管枝カラ來ル炎

ここで声ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(二) 肺ニ生ズル炎カラ來ル咳

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(三) 氣管支炎

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(四) 肺臓ニ生ズル炎カラ來ル咳

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(五) 氣管枝擴張

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(六) 肺結核

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(七) 肺臓ニ生ズル炎カラ來ル咳

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(八) 氣管枝擴張

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(九) 肺結核

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(十) 肺臓ニ生ズル炎カラ來ル咳

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(十一) 氣管枝擴張

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(十二) 肺結核

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(十三) 肺臓ニ生ズル炎カラ來ル咳

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(十四) 氣管枝擴張

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

(十五) 肺結核

ここで肺ニ炎ノ初期ニ於テ空カラ気吸ノカルシ且粘液ノ分泌ヲ増シ且膿痰ヲ排ス之ヲ咳ト稱スルガ咳ハ病ナラザル場合ニモ起ルモノデアル

最も多く　　赤痢腫ヤ之ニ次ク

中等ノ　　特ニ定性ノ時ノ凝集価ト略ト同ジ

下等ノ　　沢ト沈澱ヲ生ジ且ツ下等ニ許ス程ノ希釈ニテ稍ト略ト同ジ

言ヒ又ハ之ヲ以テ赤痢ト決定スルヲ得ズ

(四)肺癆

喀痰ヲ検スルニ肉眼ト殊ニ強ク酸ニ抵抗ヲ有スル桿菌ヲ証明スルトキハ肺癆ト診断シ得ベク、コノ場合ニ於テハ胸部ノ聴診ニ異常ヲ認メザルコトアリ

(四)肺結核

ヲ喀出シ之ニ依ヲ証明スルカ又ハ胸部ノ聴診ニ異常ヲ認メ且ツ体温ノ昇降ヲ参考シテ診断ヲ下スヲ可トス

(五)肺壊疽

悪臭ヲ有スル喀痰ヲ排出シ且ツ悪臭ヲ有スル呼気ヲ吐出スルヲ以テ診断ヲ下スヲ得ベシ

喀痰ヲ検スルニ壊疽菌ヲ証明スルヲ以テ確実ナル診断ヲ下スヲ得ベシ

消化器診断学

食道検査法

食道の解剖概要

食道ハ咽喉部ノ輪状軟骨ノ高サニ始マリ第六頸椎ノ高サニ於テ咽頭ニ連ナリ下ハ第十一胸椎ノ高サニ於テ胃ニ連ナル食道ハ脊椎ノ側方ニ下降シ後ヲ経テ次ニ稍ヤ左ニ偏シ下部ニ至リ再ビ脊椎ノ前方ニ来リ横隔膜ヲ貫キ胃ニ入ル食道ノ長サハ二五糎内外ニシテ食道ノ狭窄ハ第一ニ咽頭ト食道トノ移行部ニ於テ第二ニ気管ノ後方ニ於テ第三ニ横隔膜ヲ貫ク部ニ於テ最モ明カナリ

食道ノ視診ニ就テ

食道ノ始マル咽頭ノ部ハ前方ニ喉頭ヲ後方ニ脊椎ヲ望ミ側方ニ頸動脈ヲ触レ得ル故ニ此ノ部ニ腫瘤ヲ生ズルトキハ容易ニ之ヲ認メ得ベシ

物ノ入レ方ニヨリ飯ヲ入ルコトヲ得

(2) 仲ニ入ル食直下添許可数出ス時ハ其ノ数ヲ知リ飯ヲ入ルコトヲ得ヤ否ヤ

答用ヒラルヽヲ得ヤ食直ニ添ヘ飯ヲ入ルヽ時ハ飯ヲ入ルヽ前ニ於テ飯ヲ見ヘ飯ヲ入ルヽ時ハ飯ヲ入ルヽ後ニ於テ飯ヲ見ヘシ

又ニ飯ノ数ヲ知リ飯ヲ入ルヽ時ハ飯ヲ入ルヽ前ニ於テ飯ヲ見ヘシ

(3) 飯ヲ入ルヽ時ハ飯ヲ入ルヽ後ニ於テ飯ヲ見ヘシ

飯ヲ入ルヽ時ノ注意

一 控ヲ取リ飯ヲ入ルヽ時ハ先ツ添ヲ取リ次ニ飯ヲ入ルヽヲ法トス

用ヲ在ル時ハ飯ヲ入ルヽ前ニ於テ飯ヲ入ルヽヲ得ヤ否ヤ

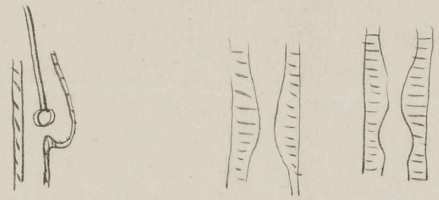
漫然ト飯ヲ入ルヽ時ハ飯ヲ入ルヽ後ニ於テ飯ヲ入ルヽヲ得ヤ否ヤ

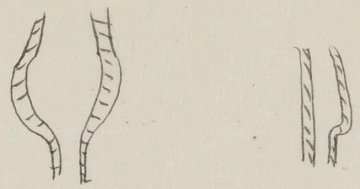
八ヘ飯ノ数ヲ明瞭ニ知ル為メ飯ヲ入ルヽ前ニ於テ飯ヲ入ルヽヲ得ヤ否ヤ

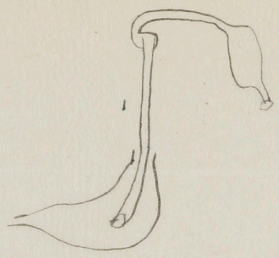
有ルヤ否ヤヲ知ル為メ飯ヲ入ルヽ後ニ於テ飯ヲ入ルヽヲ得ヤ否ヤ

食ヲ入ルヽ時ハ飯ヲ入ルヽ前ニ於テ飯ヲ入ルヽヲ得ヤ否ヤ

一 飯ヲ入ルヽ時ハ飯ヲ入ルヽ後







置ケルヲ以テ常トス而シテ此ノ胃ノ部ハ胃ノ解剖的関係ニ於テ最モ重要ナル位置ヲ占ムルモノナリ

(一) 胃癌腫ニ於ケル診断

胃癌腫ニ於ケル診断ハ最モ困難ナルモノニシテ而シテ最モ重要ナルモノナリ

一ノ病名ヲ下スニハ一切ノ胃ニ関スル症候ヲ綜合シテ之ヲ決定スルヲ要ス

胃癌腫ニ於テモ亦タ然リ

(二) 胃新生物(腫瘍ト云フモノハ)

之ヲ分類スルニ種々ノ方法アリト雖モ

之ヲ大別スレバ

(三) 胃ノ触診

触診ニ依リ胃ノ大サ形状ヲ知リ又タ胃ノ位置ヲ知リ

胃ノ解剖関係

胃ノ触診ニ依リ胃ノ大サ形状ヲ知リ又タ胃ノ位置ヲ知リ

胃ノ触診

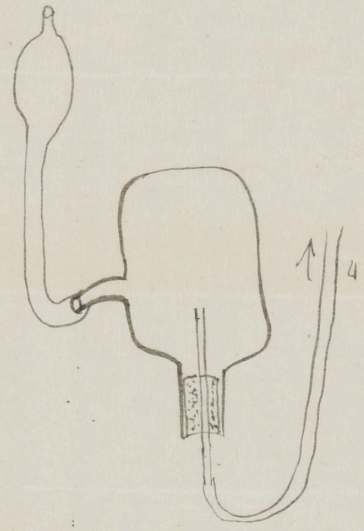
胃ノ触診ニ別ニ要スルモノアラズ

胃ノ触診ニ依リテ胃ノ大サ形状ヲ知リ又タ胃ノ位置ヲ知リ

第一 患者ノ位置ト 術者ノ位置トナリ
患者ノ位置ハ仰臥ノ位置ナリ而シテ膝関節ヲ屈シ呼吸ヲナサシメ早ク速ク呼吸セシム
術者ノ位置ハ患者ノ右側ニ腰ヲ掛ケ又ハ寛ナル時ハ手ヲ腰ニ当テ之レ腹ノ如ク常ニナシ
何人ニテモ可ナリ
而シテ胃部ノ口 呼吸サナカラ之レニ腹ノ膨張ヲ解クモノナリ而シテ(第一)ニ圧重感
覚ヲ覚ユルモノハ脊ニ痛ミヲ発ス 不快感ヲ訴フルモノニシテ胃部ニ感覚ハ以下ヲ圧シ
ヲ起シ又ハ胃ヲ甚ク吐ク 是ニ可ナル感覚ヨリハ之ヲ腹ニ膨満セルモノ 胃擴張
及胃潰瘍ノ時ハ胸骨、胃疼痛如、胃ノ潰瘍(胃ノ外形潰瘍ニ注意)
等ニ之レ注意スベキナリ
(第二)ニ新生物中必要ナルハ癌腫ニシテ大抵モノハ腫瘍ニシテ之レ患者ニ出血アルモノ
発生スルノ如キ大ナル場合ニ於テ出血ヲ内容ト共ニ含メテ之ヲ外ニ見ル患者ノ如キ
大ナルモノ自己ニ重力ヲ以テ下降スルノ腹部ノ右上部ニ来リテ癌腫ノ患者ニシテ腹部ノ
左上部ニ特ニ能ク腫瘍ヲ発見シ易キモノ断定ニ可ナリ 下位ヲ胃ヨリ発ス
セシ時ハ呼吸ニ変化ヲ来シ呼吸トハ殆ドニ之レ関セス 鑑別シ従ッテ呼吸ノ
脾臓ハ呼吸ニ変化アリ 而シテ之ヲ肝臓ハ肝臓ニ附着スル

事実ヲ以テ[illegible]治スルニ之レ同様
(第三)胃ノ擴張症 [illegible]
之レ固有ノ腸ニ自己ノ指先ニ触レ易ク[illegible]剥シ音ヲ発スル
モノニシテ[illegible]胃ハ腸ヨリ弱シ[illegible](食物ノ流動体ヲ容レ)ニ之ハ一般
音ヲ発スルハ胃ヲ擴張セルモノニシテ[illegible]胃ヲ以テ下ニ流レテナシ
ニシテ胃ノ擴張ヲ診シテ振盪音ヲ発シ且ツ胃ヲ下ニ降シ解ク
以下ニ発スルナリ之レ行フニハ空腹時ニ行フヲ可トス
是レ胃ノ擴張[illegible]胃ノ弱キ時ニ於テモ振盪音ヲ聞クニ之ヲ強ク
三患者ノ臍部ヲ[illegible]可ナリ[illegible]一寸ツヽ[illegible]ニ[illegible]
圧スベシ[illegible]
(第四)疼痛 [illegible]
胃ニ触診[illegible]痛ミアリ[illegible]且ツ腫脹[illegible]
胃ノコトニ[illegible]
胃ノ[illegible]

81
[illegible]



之ニ、各〻乳酸水 十滴 ヲ試験管ニ取リ之ニ
壱滴ヲ二滴ヅヽ加ヘテ呈色反応ヲ見ルニ
ヨリ之ヲ定量スルニ此ノ呈色時ニ加ヘタル
之ト同量ノ蒸溜水ヲ加ヘテ呈色ヲ比較
スルヲ以テス

吐物 ・糞便

吐物ハ胃液ヲ含ムヲ以テ之ヲ用ヒ
テ左ノ諸種ノ反応ヲ試ム

(1) 延展 (2) 硫酸 (3) 硝酸 (4) 塩酸
(5) 硫酸銅 (6) 明礬 (7) 乳酸

糞便ハ胃液ヲ含ムヲ以テ之ヲ用ヒ
テ左ノ諸種ノ反応ヲ試ム

(1) 延展 (2) 硫酸 (3) 硝酸 (4) 塩酸
(5) 硫酸銅 (6) 明礬 (7) 乳酸

(8) 胆汁 (9) 血液 (10) 膿

(1) 延展 (2) 硫酸 (3) 硝酸 (4) 塩酸
(5) 硫酸銅 (6) 明礬 (7) 乳酸
(8) 胆汁 (9) 血液 (10) 膿

腹痛、下痢、嘔吐、食欲不振、全身倦怠、
摂食不良、体重減少、
1) 吐物、量
2) 内眼的、検査
3) 顕微鏡的検査
4) 臭気、色
5) 反応

(一) 吐物 量は一般に腸閉塞時は多く、通常量より嘔吐、
回数は一定せず、色調は注意すべき一つの徴候で、
ブドー酒、淡黄褐色、緑色、
コーヒー残渣様、鉄剤服用時は黒色、
さらに訴訟毒、ある種の薬剤、
(二) 回眼的検査 (1) 黒色便 (2) 血液性、
(三) 顕微鏡的検査 (1) 虫卵 (2) 寄生虫、
(四) 臭気 (1) 腐敗臭 (2) 酸臭、
(五) 反応 (1) 吐物 (2) 便 (3) 尿

a) 吐物 吐物には、胃液、胆汁、膵液、腸液、
または食物と両方混ざり時には多量となり、
淡黄色ないし黄緑色、
時には黒色となります
b) 胆汁性嘔吐 胆汁性嘔吐とは、
胃液に胆汁が混ざったもの、
c) 血液性吐物 血液性吐物とは、
又胃潰瘍、胃癌、
時には肺、十二指腸潰瘍、
d) 腸汁嘔吐 腸汁嘔吐とは、
心因的、
e) 吐糞 吐糞とは、

(ヘ) 舌苔
舌ノ表面ニ白色或ハ黄色ノ苔ヲ附着スルコトアリ之ハ胃腸ノ病ニ因ルモノニシテ胃腸ノ病ヲ診スルニ重要ナリ

(ト) 口臭
口臭ニ酸性ノモノ、アルカリ性ノモノ、腐敗臭ノアルモノ等アリ

(チ) 嘔吐
嘔吐ニ胃ノ病ニ因ルモノ、腸ノ病ニ因ルモノ、腹膜ノ病ニ因ルモノ、脳ノ病ニ因ルモノ等アリ

(リ) 便通
便通ニ秘結ト下痢トアリ

(ヌ) 尿
尿ニ蛋白ヲ含ムモノ、糖ヲ含ムモノ、血ヲ混ズルモノ等アリ

(ル) 体温
体温ニ高キモノ、低キモノアリ

(ヲ) 脈
脈ニ速キモノ、遅キモノ、緊張セルモノ、弛緩セルモノ、不整ナルモノ等アリ

(ワ) 呼吸
呼吸ニ速キモノ、遅キモノ、深キモノ、浅キモノ、不整ナルモノ等アリ

(カ) 皮膚
皮膚ニ発疹ヲ生ズルモノアリ

(ヨ) 筋肉
筋肉ニ痙攣ヲ生ズルモノアリ

(タ) 知覚
知覚ニ過敏ナルモノ、鈍麻セルモノアリ

(レ) 運動
運動ニ麻痺ヲ来スモノアリ

(ソ) 精神
精神ニ異常ヲ来スモノアリ

B 病態

(一) 現在ノ変化

(イ) 発育
発育ニ大ナルモノ、小ナルモノアリ

(ロ) 栄養
栄養ニ佳良ナルモノ、不良ナルモノアリ

(ハ) 体格
体格ニ強健ナルモノ、虚弱ナルモノアリ

(ニ) 体質
体質ニ神経質ナルモノ、粘液質ナルモノ、多血質ナルモノ、胆汁質ナルモノアリ

(ホ) 顔貌
顔貌ニ憔悴セルモノ、浮腫ヲ呈スルモノアリ

(ヘ) 姿勢
姿勢ニ異常ヲ来スモノアリ

(ト) 歩行
歩行ニ異常ヲ来スモノアリ

(チ) 動作
動作ニ敏活ナルモノ、緩慢ナルモノアリ

(リ) 言語
言語ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヌ) 嗜好
嗜好ニ異常ヲ来スモノアリ

(ル) 食欲
食欲ニ亢進セルモノ、減退セルモノアリ

(ヲ) 睡眠
睡眠ニ異常ヲ来スモノアリ

(ワ) 排泄
排泄ニ異常ヲ来スモノアリ

(カ) 分泌
分泌ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヨ) 運動
運動ニ異常ヲ来スモノアリ

(タ) 知覚
知覚ニ異常ヲ来スモノアリ

(レ) 精神
精神ニ異常ヲ来スモノアリ

(ソ) 意識
意識ニ異常ヲ来スモノアリ

(二) 既往ノ変化

(イ) 発育
発育ニ大ナルモノ、小ナルモノアリ

(ロ) 栄養
栄養ニ佳良ナルモノ、不良ナルモノアリ

(ハ) 体格
体格ニ強健ナルモノ、虚弱ナルモノアリ

(ニ) 体質
体質ニ神経質ナルモノ、粘液質ナルモノ、多血質ナルモノ、胆汁質ナルモノアリ

(ホ) 顔貌
顔貌ニ憔悴セルモノ、浮腫ヲ呈スルモノアリ

(ヘ) 姿勢
姿勢ニ異常ヲ来スモノアリ

(ト) 歩行
歩行ニ異常ヲ来スモノアリ

(チ) 動作
動作ニ敏活ナルモノ、緩慢ナルモノアリ

(リ) 言語
言語ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヌ) 嗜好
嗜好ニ異常ヲ来スモノアリ

(ル) 食欲
食欲ニ亢進セルモノ、減退セルモノアリ

(ヲ) 睡眠
睡眠ニ異常ヲ来スモノアリ

(ワ) 排泄
排泄ニ異常ヲ来スモノアリ

(カ) 分泌
分泌ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヨ) 運動
運動ニ異常ヲ来スモノアリ

(タ) 知覚
知覚ニ異常ヲ来スモノアリ

(レ) 精神
精神ニ異常ヲ来スモノアリ

(ソ) 意識
意識ニ異常ヲ来スモノアリ

(ツ) 既往ノ病歴
既往ノ病歴ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(ネ) 家族ノ病歴
家族ノ病歴ニ遺伝ノ関係アルモノアリ

(ナ) 社会的関係
社会的関係ニ異常ヲ来スモノアリ

(ラ) 経済的関係
経済的関係ニ異常ヲ来スモノアリ

(ム) 習慣
習慣ニ異常ヲ来スモノアリ

(ウ) 嗜好
嗜好ニ異常ヲ来スモノアリ

(ノ) 性癖
性癖ニ異常ヲ来スモノアリ

(オ) 性的関係
性的関係ニ異常ヲ来スモノアリ

(ク) 月経
月経ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヤ) 妊娠
妊娠ニ異常ヲ来スモノアリ

(マ) 分娩
分娩ニ異常ヲ来スモノアリ

(ケ) 産褥
産褥ニ異常ヲ来スモノアリ

(フ) 授乳
授乳ニ異常ヲ来スモノアリ

(コ) 断乳
断乳ニ異常ヲ来スモノアリ

(エ) 離乳
離乳ニ異常ヲ来スモノアリ

(テ) 予防接種
予防接種ニ異常ヲ来スモノアリ

(ア) 伝染病
伝染病ニ罹リタルモノアリ

(サ) 外傷
外傷ニ罹リタルモノアリ

(キ) 中毒
中毒ニ罹リタルモノアリ

(ユ) 寄生虫病
寄生虫病ニ罹リタルモノアリ

(メ) 其他ノ病歴
其他ノ病歴ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(シ) 現在ノ病歴
現在ノ病歴ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(ヒ) 経過
経過ニ急性ノモノ、慢性ノモノアリ

(モ) 予後
予後ニ良好ナルモノ、不良ナルモノアリ

(セ) 治療
治療ニ奏効セルモノ、奏効セザルモノアリ

(ス) 転帰
転帰ニ治癒セルモノ、死亡セルモノアリ

(ン) 其他
其他ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(ロ) 附ノ変化

(イ) 発育
発育ニ大ナルモノ、小ナルモノアリ

(ロ) 栄養
栄養ニ佳良ナルモノ、不良ナルモノアリ

(ハ) 体格
体格ニ強健ナルモノ、虚弱ナルモノアリ

(ニ) 体質
体質ニ神経質ナルモノ、粘液質ナルモノ、多血質ナルモノ、胆汁質ナルモノアリ

(ホ) 顔貌
顔貌ニ憔悴セルモノ、浮腫ヲ呈スルモノアリ

(ヘ) 姿勢
姿勢ニ異常ヲ来スモノアリ

(ト) 歩行
歩行ニ異常ヲ来スモノアリ

(チ) 動作
動作ニ敏活ナルモノ、緩慢ナルモノアリ

(リ) 言語
言語ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヌ) 嗜好
嗜好ニ異常ヲ来スモノアリ

(ル) 食欲
食欲ニ亢進セルモノ、減退セルモノアリ

(ヲ) 睡眠
睡眠ニ異常ヲ来スモノアリ

(ワ) 排泄
排泄ニ異常ヲ来スモノアリ

(カ) 分泌
分泌ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヨ) 運動
運動ニ異常ヲ来スモノアリ

(タ) 知覚
知覚ニ異常ヲ来スモノアリ

(レ) 精神
精神ニ異常ヲ来スモノアリ

(ソ) 意識
意識ニ異常ヲ来スモノアリ

(ツ) 既往ノ病歴
既往ノ病歴ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(ネ) 家族ノ病歴
家族ノ病歴ニ遺伝ノ関係アルモノアリ

(ナ) 社会的関係
社会的関係ニ異常ヲ来スモノアリ

(ラ) 経済的関係
経済的関係ニ異常ヲ来スモノアリ

(ム) 習慣
習慣ニ異常ヲ来スモノアリ

(ウ) 嗜好
嗜好ニ異常ヲ来スモノアリ

(ノ) 性癖
性癖ニ異常ヲ来スモノアリ

(オ) 性的関係
性的関係ニ異常ヲ来スモノアリ

(ク) 月経
月経ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヤ) 妊娠
妊娠ニ異常ヲ来スモノアリ

(マ) 分娩
分娩ニ異常ヲ来スモノアリ

(ケ) 産褥
産褥ニ異常ヲ来スモノアリ

(フ) 授乳
授乳ニ異常ヲ来スモノアリ

(コ) 断乳
断乳ニ異常ヲ来スモノアリ

(エ) 離乳
離乳ニ異常ヲ来スモノアリ

(テ) 予防接種
予防接種ニ異常ヲ来スモノアリ

(ア) 伝染病
伝染病ニ罹リタルモノアリ

(サ) 外傷
外傷ニ罹リタルモノアリ

(キ) 中毒
中毒ニ罹リタルモノアリ

(ユ) 寄生虫病
寄生虫病ニ罹リタルモノアリ

(メ) 其他ノ病歴
其他ノ病歴ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(シ) 現在ノ病歴
現在ノ病歴ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(ヒ) 経過
経過ニ急性ノモノ、慢性ノモノアリ

(モ) 予後
予後ニ良好ナルモノ、不良ナルモノアリ

(セ) 治療
治療ニ奏効セルモノ、奏効セザルモノアリ

(ス) 転帰
転帰ニ治癒セルモノ、死亡セルモノアリ

(ン) 其他
其他ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(ロ) 附ノ変化

(イ) 発育
発育ニ大ナルモノ、小ナルモノアリ

(ロ) 栄養
栄養ニ佳良ナルモノ、不良ナルモノアリ

(ハ) 体格
体格ニ強健ナルモノ、虚弱ナルモノアリ

(ニ) 体質
体質ニ神経質ナルモノ、粘液質ナルモノ、多血質ナルモノ、胆汁質ナルモノアリ

(ホ) 顔貌
顔貌ニ憔悴セルモノ、浮腫ヲ呈スルモノアリ

(ヘ) 姿勢
姿勢ニ異常ヲ来スモノアリ

(ト) 歩行
歩行ニ異常ヲ来スモノアリ

(チ) 動作
動作ニ敏活ナルモノ、緩慢ナルモノアリ

(リ) 言語
言語ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヌ) 嗜好
嗜好ニ異常ヲ来スモノアリ

(ル) 食欲
食欲ニ亢進セルモノ、減退セルモノアリ

(ヲ) 睡眠
睡眠ニ異常ヲ来スモノアリ

(ワ) 排泄
排泄ニ異常ヲ来スモノアリ

(カ) 分泌
分泌ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヨ) 運動
運動ニ異常ヲ来スモノアリ

(タ) 知覚
知覚ニ異常ヲ来スモノアリ

(レ) 精神
精神ニ異常ヲ来スモノアリ

(ソ) 意識
意識ニ異常ヲ来スモノアリ

(ツ) 既往ノ病歴
既往ノ病歴ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(ネ) 家族ノ病歴
家族ノ病歴ニ遺伝ノ関係アルモノアリ

(ナ) 社会的関係
社会的関係ニ異常ヲ来スモノアリ

(ラ) 経済的関係
経済的関係ニ異常ヲ来スモノアリ

(ム) 習慣
習慣ニ異常ヲ来スモノアリ

(ウ) 嗜好
嗜好ニ異常ヲ来スモノアリ

(ノ) 性癖
性癖ニ異常ヲ来スモノアリ

(オ) 性的関係
性的関係ニ異常ヲ来スモノアリ

(ク) 月経
月経ニ異常ヲ来スモノアリ

(ヤ) 妊娠
妊娠ニ異常ヲ来スモノアリ

(マ) 分娩
分娩ニ異常ヲ来スモノアリ

(ケ) 産褥
産褥ニ異常ヲ来スモノアリ

(フ) 授乳
授乳ニ異常ヲ来スモノアリ

(コ) 断乳
断乳ニ異常ヲ来スモノアリ

(エ) 離乳
離乳ニ異常ヲ来スモノアリ

(テ) 予防接種
予防接種ニ異常ヲ来スモノアリ

(ア) 伝染病
伝染病ニ罹リタルモノアリ

(サ) 外傷
外傷ニ罹リタルモノアリ

(キ) 中毒
中毒ニ罹リタルモノアリ

(ユ) 寄生虫病
寄生虫病ニ罹リタルモノアリ

(メ) 其他ノ病歴
其他ノ病歴ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(シ) 現在ノ病歴
現在ノ病歴ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

(ヒ) 経過
経過ニ急性ノモノ、慢性ノモノアリ

(モ) 予後
予後ニ良好ナルモノ、不良ナルモノアリ

(セ) 治療
治療ニ奏効セルモノ、奏効セザルモノアリ

(ス) 転帰
転帰ニ治癒セルモノ、死亡セルモノアリ

(ン) 其他
其他ニ重大ナルモノ、軽微ナルモノアリ

胃腸病

胃腸病ハ一部大小便ノ障害又ハ胸腹ノ痛ミ或ハ嘔吐ヲ主トスル病ニシテ其ノ種類甚タ多シ

A 下腹部痛ノ病

a 下腹部痛ヲ主トスル病

b 下腹部痛ト腰痛トヲ伴フ病

(一) 腸ノ炎症

(二) 腸ノ炎症

(三) 胃ノ発育部膨満

(四) 腸閉塞(イレウス)

(五) 腸ノ寄生虫病

(六) 腸ノ結核

(七) 腸ノ腫瘍

(八) 腸ノ潰瘍

(九) 腸ノ狭窄

(十) 腸ノ脱出

(十一) 腸ノ捻転

(十二) 腸ノ憩室

(十三) 腸ノ癒着

(十四) 腸ノ出血

(十五) 腸ノ穿孔

(十六) 腸ノ腫瘍

(十七) 腸ノ潰瘍

(十八) 腸ノ狭窄

(十九) 腸ノ脱出

(二十) 腸ノ捻転

(二十一) 腸ノ憩室

(二十二) 腸ノ癒着

(二十三) 腸ノ出血

(二十四) 腸ノ穿孔

くらえ腸腹に落ち水は腸を…
腸炎(四炎)下腸ノ炎ヲ見ル
B 腸ヲ縮ム作用ヲ有ス
ソノ証ヲ知ルニハ腸ヲ…ニ見ル時ハ腸ノ狭ヲ…
ルヲモ…腸ヲ吸収スル…ヲ…ニ見ル
乙 下腸ノ動作
ヒトヲ行フ之ヲ通常仰臥ノ位ヲトル…
且腹ヲ浅クス
(一) 腹壁ノ厚キ…
(二) 一般ニ音ノ低キ…
ソノ腸ヲ按ズルニ一般ニ腹壁厚キ…
青腸ハ赤、青腸ハ周ク、腸ハ実ニ腸ハ…ト…
ヲ要スベシ 大腸ハ…ノ下ト左ノ…ヲ…
腸ハ…ノ前ニ…
(三) 一般ニ音ノ…
ソノ腸ヲ按ズルニ一般ニ…(腸ハ…)ヲ…ル…

陰門ヲ…腸ヲ按ズルニ…ヲ通…腸ヲ…ト共ニ…
(一) 腹壁ノ厚キ…
ヒニ、直腸、肛門ノ…ヲ…ノ開張
ヒ…ヲ…ニ肛門…ヲ…ベシ
丙 下腸ヲ診ル
ヲ診ルヲ行フハ腸腔ヲ張ル…
(二) 腸ノ…
病的ニ腹腔ニ…ハ腹壁ヲ…ヲ…
ヲ按ルハ腸ヲ…ハ自…ヲ…
ヘテ…ヲ…ヲ…ト共ニ…
通ヲ…ヲ…ト…ヲ…
(三) 異物ノ…
異物ヲ…腹壁ヲ…ヲ…
丁 下腸ノ聴診
ヒニ…ヲ…ヲ…

肝胆論

肝胆刺絡之量

肝胆相照

肝胆相照論

肝胆ハ相ヒ照ス、サレハ肝ノ大ナル者ハ胆モ大ニ、胆ノ小ナル者ハ肝モ小ナリ、サレハ肝ノ大ナル者ハ胆ヲ視テ之ヲ知リ、胆ノ大ナル者ハ肝ヲ視テ之ヲ知ル、サレハ肝胆ハ相ヒ照ス、

肝胆重大

肝胆ハ重大ニシテ、軽忽ニ見ルヘカラス、肝胆ノ病ハ、肝胆ニ止マラス、脾胃ニ及ホシ、脾胃ノ病ハ、肝胆ニ及ホス、

肝胆救治

肝胆ノ病ニ、脾胃ヲ救治スルヲ以テ、肝胆ヲ救治スルノ法トス、

肝胆能治

肝胆ノ病ヲ治スル、一切ノ薬ヲ以テ、肝胆ヲ治スルヲ、肝胆能治ト云フ、

(五) 尿毒

(六) 肝脾腫脹

(七) 肝硬変症

(八) 肝膿瘍

肝膿瘍ハ化膿菌ノ侵入ニ因リテ起ル比較的稀ナル疾患ニシテ其ノ原因ハ細菌塞栓ニ因ルモノ、胆管ヨリ上行性ニ感染スルモノ、直接ニ外傷ニ因ルモノ等アリ

肝膿瘍ハ単発性ノ場合ト多発性ノ場合トアリ単発性ノ場合ニ於テハ膿瘍ハ右葉ニ多ク左葉ニ少ナシ

肝膿瘍ハ其ノ大小ニ従ヒ種々ノ症状ヲ呈スルモノニシテ小膿瘍ニ於テハ殆ンド症状ヲ呈セズ大膿瘍ニ於テハ悪寒戦慄ヲ伴フ高熱ヲ発シ発汗甚シク脈搏数ヲ増シ呼吸促迫シ食欲ヲ減ジ悪心嘔吐ヲ催シ全身倦怠ヲ訴ヘ黄疸ヲ発シ肝臓腫大シ圧痛ヲ訴ヘ肝臓部ニ自発痛ヲ訴ヘ肝臓部ノ皮膚ハ発赤シ浮腫ヲ来シ膿瘍ノ破裂スルニ及ンデハ急激ニ虚脱ニ陥リ死ニ至ルコトアリ

膿瘍ノ破裂スルニ及ンデハ急激ニ虚脱ニ陥リ死ニ至ルコトアリ

膿瘍ノ破裂ハ胸腔ニ向ヒテ起ルモノ最モ多ク次デ腹腔ニ向ヒテ起ルモノ多シ

膿瘍ノ破裂スルニ及ンデハ急激ニ虚脱ニ陥リ死ニ至ルコトアリ

膿瘍ノ破裂ハ胸腔ニ向ヒテ起ルモノ最モ多ク次デ腹腔ニ向ヒテ起ルモノ多シ

膿瘍ノ破裂スルニ及ンデハ急激ニ虚脱ニ陥リ死ニ至ルコトアリ

膿瘍ノ破裂ハ胸腔ニ向ヒテ起ルモノ最モ多ク次デ腹腔ニ向ヒテ起ルモノ多シ

膿瘍ノ破裂スルニ及ンデハ急激ニ虚脱ニ陥リ死ニ至ルコトアリ

膿瘍ノ破裂ハ胸腔ニ向ヒテ起ルモノ最モ多ク次デ腹腔ニ向ヒテ起ルモノ多シ

下腹部ニ於テ脈ヲ診スルニ下ヨリ上ニ指ヲ移シ又下ヨリ上ニ指ヲ移シ之ヲ診スルヲ称シテ見ル

(三) 肝脈 堅大

陽ニ堅ク大ナルコトヲ云ヒ脈稍ノ実ヲ分ケテ堅ト為ス

(四) 肝脈 弱小

之ハ肝脈一般ニ弱ニシテ於テ見ル且ツ胃ノ気陽ニ乏シク腹ノ生時ニ至ルマデ肝ノ黄色ヲ帯ビ席ニ於テ之ヲ診スルヲ称シテ弱小ト為ス

肝脈 緩治

之ハ通常ノ如ク

脾脈 腫脈 沈重

脾脈ハ前ニ述ヘタル如ク腹ノ位置ニ於テ之ヲ診スルヲ称シテ腫脈ト為ス

脾脈 弦治

之ハ通常ノ如ク

脾脈 緩治

之ハ通常ノ如ク

脾脈 軟治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 浮治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 沈治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 細治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 数治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 洪治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 散治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 短治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 渋治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 革治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 実治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 緊治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 弱治

之ハ通常ノ如ク

肺脈 軟

脾臓ノ打撲

脾臓ハ胃ノ後方ニ位シ左季肋部ニ於テ第九肋骨ノ下縁ニ接シ其ノ大サハ人ニ依リ多少ノ差アルモ概ネ長サ十糎幅六糎厚サ三糎ニシテ重量ハ百五十瓦内外ナリ

脾臓ハ肥大シ腹腔ノ全体ヲ満シ又ハ多数ノ小腫瘤ヲ生ジ或ハ脾臓ノ一部ニ限局シテ腫瘤ヲ生ジ又

沈の辰の昼の酉の酒の法

A 時、時、法、昼

(一) 昼、前刻的法昼

(二) 時、時、復、法

(三) 時、時、前、法

腎臓病患者之尿量減少ス
腎臓病患者之尿量増加ス
生理的（生理的ニ）
（病的ニ）
腎臓病

(四) 腎臓病ト尿

(五) 腎臓疾患ノ診断ニ尿ノ検査ヲ必要トスル理由

A 腎臓疾患ノ診断ニ尿ノ検査ヲ必要トスル理由ハ腎臓疾患ニ罹レバ尿ニ異常ヲ来スヲ以テ尿ノ検査ニヨリ腎臓疾患ノ有無ヲ知リ又腎臓疾患ノ種類ヲ知ルヲ得ルガ為メナリ

B 腎臓疾患ニ罹レバ尿ニ異常ヲ来スヲ以テ尿ノ検査ニヨリ腎臓疾患ノ有無ヲ知リ又腎臓疾患ノ種類ヲ知ルヲ得ルガ為メナリ

C 腎臓疾患ニ罹レバ尿ニ異常ヲ来スヲ以テ尿ノ検査ニヨリ腎臓疾患ノ有無ヲ知リ又腎臓疾患ノ種類ヲ知ルヲ得ルガ為メナリ

D 検尿法

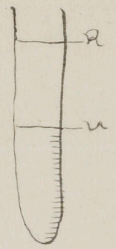
尿ノ検査ニハ一定ノ順序ヲ以テ行フヲ要ス

尿ノ検査ニハ一定ノ順序ヲ以テ行フヲ要ス

(一) 尿量 多クハ一日ノ量ヲ測ル

(一) 尿量 多クハ一日ノ量ヲ測ル

(一) 尿量 多クハ一日ノ量ヲ測ル



平皿寒天培地による試験

この試験法は陸用細菌学教科書に記載されている方法を知っておく必要がある。

試験器具

試験器具としては普通の試験管のほかに特殊の器具を用いる。

試験管

試験管は第一図に示すような形をしたもので、口径一糎、長さ十糎内外のものを用いる。

平皿

平皿は第二図に示すような形をしたもので、直径十糎内外のものを用いる。

試験用水

試験用水としては蒸溜水を用いる。

寒天培地

寒天培地には普通寒天培地と乳糖寒天培地とがある。

普通寒天培地

普通寒天培地は肉汁寒天培地ともいい、肉汁に寒天を加えて作る。

肉汁

肉汁は牛肉を細かく刻んで一定量の水に浸し、一晩冷所に置いて肉汁を浸出させ、これを煮沸して濾過する。

寒天

寒天は細かく切って用いる。

乳糖寒天培地

乳糖寒天培地は普通寒天培地に乳糖を加えたもので、大腸菌群の検査に用いる。

試験管培地

試験管培地には斜面培地と高層培地とがある。

斜面培地

斜面培地は試験管に培地を入れて斜面を作ったもので、

高層培地

高層培地は試験管に培地を入れて直立させたもので、

平皿培地

平皿培地は平皿に培地を入れて凝固させたもので、

培地の滅菌

培地の滅菌は高圧滅菌器を用いて行う。

試験法

試験法には定性試験と定量試験とがある。

定性試験

定性試験は検水中に細菌が存在するかどうかを検査するもので、

定量試験

定量試験は検水一立方糎中に細菌が何個存在するかを検査するもので、

検水の採取

検水の採取は清潔な器具を用いて行う。

水道水の採取

水道水の採取は給水栓をよく消毒してから十分に水を流し、

井戸水の採取

井戸水の採取は汲上げた水を用いる。

河川水の採取

河川水の採取は表面から一定の深さの水を採る。

海水の採取

海水の採取は表面から一定の深さの水を採る。

検水の運搬

検水の運搬は氷を入れた箱に入れて行う。

検水の保存

検水の保存は採取後なるべく速やかに試験を行うのがよいが、やむを得ない場合には冷所に保存する。

検水の稀釈

検水の稀釈は滅菌水を用いて行う。

稀釈倍数

稀釈倍数は検水の汚染の程度によって定める。

稀釈法

稀釈法には一段稀釈法と多段稀釈法とがある。

一段稀釈法

一段稀釈法は検水を一回だけ稀釈する方法で、

多段稀釈法

多段稀釈法は検水を順次に稀釈する方法で、

培養温度

培養温度は三十七度を標準とするが、

培養時間

培養時間は二十四時間を標準とするが、

集落の計算

集落の計算は肉眼で行うが、

集落の観察

集落の観察は顕微鏡を用いて行う。

集落の形態

集落の形態は培地の種類によって異なる。

集落の色調

集落の色調は培地の種類によって異なる。

集落の大きさ

集落の大きさは培地の種類によって異なる。

集落の表面

集落の表面は平滑なものと粗なものとがある。

集落の縁

集落の縁は整うものと不整なものとがある。

集落の内部構造

集落の内部構造は顕微鏡で観察する。

集落の透明度

集落の透明度は培地の種類によって異なる。

集落の粘稠度

集落の粘稠度は培地の種類によって異なる。

集落の臭気

集落の臭気は培地の種類によって異なる。

集落の味

集落の味は培地の種類によって異なる。

集落の運動性

集落の運動性は顕微鏡で観察する。

集落の芽胞

集落の芽胞は染色して観察する。

集落の莢膜

集落の莢膜は染色して観察する。

集落の鞭毛

集落の鞭毛は染色して観察する。

集落の核

集落の核は染色して観察する。

集落の原形質

集落の原形質は染色して観察する。

集落の細胞壁

集落の細胞壁は染色して観察する。

集落の細胞膜

集落の細胞膜は染色して観察する。

集落の細胞質

集落の細胞質は染色して観察する。

集落の細胞核

集落の細胞核は染色して観察する。

集落の細胞小器官

集落の細胞小器官は染色して観察する。

集落の細胞内含有物

集落の細胞内含有物は染色して観察する。

集落の細胞外含有物

集落の細胞外含有物は染色して観察する。

集落の細胞間物質

集落の細胞間物質は染色して観察する。

集落の細胞表面

集落の細胞表面は染色して観察する。

集落の細胞内部

集落の細胞内部は染色して観察する。

集落の細胞全体

集落の細胞全体は染色して観察する。

集落の細胞一部

集落の細胞一部は染色して観察する。

集落の細胞二部

集落の細胞二部は染色して観察する。

集落の細胞三部

集落の細胞三部は染色して観察する。

集落の細胞四部

集落の細胞四部は染色して観察する。

集落の細胞五部

集落の細胞五部は染色して観察する。

集落の細胞六部

集落の細胞六部は染色して観察する。

集落の細胞七部

集落の細胞七部は染色して観察する。

集落の細胞八部

集落の細胞八部は染色して観察する。

集落の細胞九部

集落の細胞九部は染色して観察する。

集落の細胞十部

集落の細胞十部は染色して観察する。

集落の細胞十一部

集落の細胞十一部は染色して観察する。

集落の細胞十二部

集落の細胞十二部は染色して観察する。

集落の細胞十三部

集落の細胞十三部は染色して観察する。

集落の細胞十四部

集落の細胞十四部は染色して観察する。

集落の細胞十五部

集落の細胞十五部は染色して観察する。

集落の細胞十六部

集落の細胞十六部は染色して観察する。

集落の細胞十七部

集落の細胞十七部は染色して観察する。

集落の細胞十八部

集落の細胞十八部は染色して観察する。

集落の細胞十九部

集落の細胞十九部は染色して観察する。

集落の細胞二十部

集落の細胞二十部は染色して観察する。

集落の細胞二十一部

集落の細胞二十一部は染色して観察する。

集落の細胞二十二部

集落の細胞二十二部は染色して観察する。

集落の細胞二十三部

集落の細胞二十三部は染色して観察する。

集落の細胞二十四部

集落の細胞二十四部は染色して観察する。

集落の細胞二十五部

集落の細胞二十五部は染色して観察する。

集落の細胞二十六部

集落の細胞二十六部は染色して観察する。

集落の細胞二十七部

集落の細胞二十七部は染色して観察する。

集落の細胞二十八部

集落の細胞二十八部は染色して観察する。

集落の細胞二十九部

集落の細胞二十九部は染色して観察する。

集落の細胞三十部

集落の細胞三十部は染色して観察する。

集落の細胞三十一部

集落の細胞三十一部は染色して観察する。

集落の細胞三十二部

集落の細胞三十二部は染色して観察する。

集落の細胞三十三部

集落の細胞三十三部は染色して観察する。

集落の細胞三十四部

集落の細胞三十四部は染色して観察する。

集落の細胞三十五部

集落の細胞三十五部は染色して観察する。

集落の細胞三十六部

集落の細胞三十六部は染色して観察する。

集落の細胞三十七部

集落の細胞三十七部は染色して観察する。

集落の細胞三十八部

集落の細胞三十八部は染色して観察する。

集落の細胞三十九部

集落の細胞三十九部は染色して観察する。

集落の細胞四十部

集落の細胞四十部は染色して観察する。

集落の細胞四十一部

集落の細胞四十一部は染色して観察する。

集落の細胞四十二部

集落の細胞四十二部は染色して観察する。

集落の細胞四十三部

集落の細胞四十三部は染色して観察する。

集落の細胞四十四部

集落の細胞四十四部は染色して観察する。

集落の細胞四十五部

集落の細胞四十五部は染色して観察する。

集落の細胞四十六部

集落の細胞四十六部は染色して観察する。

集落の細胞四十七部

集落の細胞四十七部は染色して観察する。

集落の細胞四十八部

集落の細胞四十八部は染色して観察する。

集落の細胞四十九部

集落の細胞四十九部は染色して観察する。

集落の細胞五十部

集落の細胞五十部は染色して観察する。

集落の細胞五十一部

集落の細胞五十一部は染色して観察する。

集落の細胞五十二部

集落の細胞五十二部は染色して観察する。

集落の細胞五十三部

集落の細胞五十三部は染色して観察する。

集落の細胞五十四部

集落の細胞五十四部は染色して観察する。

集落の細胞五十五部

集落の細胞五十五部は染色して観察する。

集落の細胞五十六部

集落の細胞五十六部は染色して観察する。

集落の細胞五十七部

集落の細胞五十七部は染色して観察する。

集落の細胞五十八部

集落の細胞五十八部は染色して観察する。

集落の細胞五十九部

集落の細胞五十九部は染色して観察する。

集落の細胞六十部

集落の細胞六十部は染色して観察する。

集落の細胞六十一部

集落の細胞六十一部は染色して観察する。

集落の細胞六十二部

集落の細胞六十二部は染色して観察する。

集落の細胞六十三部

集落の細胞六十三部は染色して観察する。

集落の細胞六十四部

集落の細胞六十四部は染色して観察する。

集落の細胞六十五部

集落の細胞六十五部は染色して観察する。

集落の細胞六十六部

集落の細胞六十六部は染色して観察する。

集落の細胞六十七部

集落の細胞六十七部は染色して観察する。

集落の細胞六十八部

集落の細胞六十八部は染色して観察する。

集落の細胞六十九部

集落の細胞六十九部は染色して観察する。

集落の細胞七十部

集落の細胞七十部は染色して観察する。

集落の細胞七十一部

集落の細胞七十一部は染色して観察する。

集落の細胞七十二部

集落の細胞七十二部は染色して観察する。

集落の細胞七十三部

集落の細胞七十三部は染色して観察する。

集落の細胞七十四部

集落の細胞七十四部は染色して観察する。

集落の細胞七十五部

集落の細胞七十五部は染色して観察する。

集落の細胞七十六部

集落の細胞七十六部は染色して観察する。

集落の細胞七十七部

集落の細胞七十七部は染色して観察する。

集落の細胞七十八部

集落の細胞七十八部は染色して観察する。

集落の細胞七十九部

集落の細胞七十九部は染色して観察する。

集落の細胞八十部

集落の細胞八十部は染色して観察する。

集落の細胞八十一部

集落の細胞八十一部は染色して観察する。

集落の細胞八十二部

集落の細胞八十二部は染色して観察する。

集落の細胞八十三部

集落の細胞八十三部は染色して観察する。

集落の細胞八十四部

集落の細胞八十四部は染色して観察する。

集落の細胞八十五部

集落の細胞八十五部は染色して観察する。

集落の細胞八十六部

集落の細胞八十六部は染色して観察する。

集落の細胞八十七部

集落の細胞八十七部は染色して観察する。

集落の細胞八十八部

集落の細胞八十八部は染色して観察する。

集落の細胞八十九部

集落の細胞八十九部は染色して観察する。

集落の細胞九十部

集落の細胞九十部は染色して観察する。

集落の細胞九十一部

集落の細胞九十一部は染色して観察する。

集落の細胞九十二部

集落の細胞九十二部は染色して観察する。

集落の細胞九十三部

集落の細胞九十三部は染色して観察する。

集落の細胞九十四部

集落の細胞九十四部は染色して観察する。

集落の細胞九十五部

集落の細胞九十五部は染色して観察する。

集落の細胞九十六部

集落の細胞九十六部は染色して観察する。

集落の細胞九十七部

集落の細胞九十七部は染色して観察する。

集落の細胞九十八部

集落の細胞九十八部は染色して観察する。

集落の細胞九十九部

集落の細胞九十九部は染色して観察する。

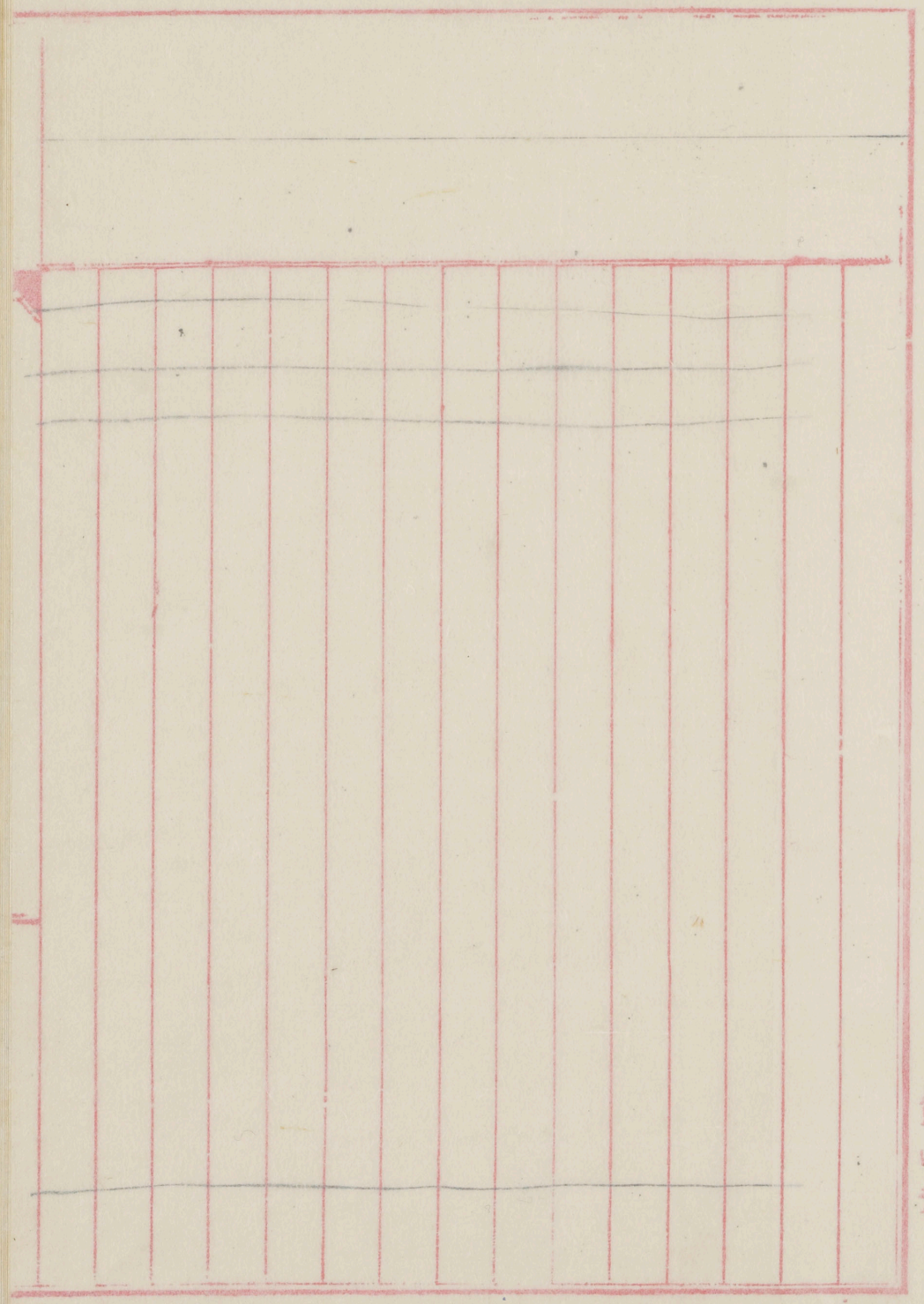
集落の細胞百部

集落の細胞百部は染色して観察する。

[illegible]

① 開閉閉栓

[illegible]

[illegible]

[illegible]